

令和6年度

事業報告書



目 次

沿 革	1
法 人	1
1 法人の概要	2
2 法人の行う事業	2
3 役員等の状況	3
4 理事会開催状況	3
5 評議員会開催状況	3
6 監事の監査状況	4
7 寄付金の状況	4
8 資格取得の状況	4
9 研修等参加の状況	5
10 実習等・視察・見学の受入、講師・講演依頼	5
11 災害事故防止対策	6
12 地域における公益的な取り組み	7
13 腰痛予防対策	8
14 各委員会	11
15 受賞	12

特別養護老人ホームあんの里

1 職員配置	20
2 介護福祉施設収入	20
3 空床型短期生活介護施設事業収入	20
4 空床型短期入所(ショートステイ)利用状況	20
5 入退所者等の状況	20
6 入所者の状況	21
7 入所者の健康診断実施状況	22
8 入所者の入院状況	22
9 看取り介護実施者数	22
10 感染症予防対策	22
11 機能訓練月別実施内訳	23
12 機能訓練別対象者数	23
13 苦情解決の状況	23
14 栄養ケア・マネジメント	24

あんの里デイサービスセンター

1 職員配置	27
2 介護保険収入等	27
3 デイサービス月別利用状況	27
4 要介護度別利用者数	28
5 サービスの状況	28
6 苦情解決の状況	28
7 余暇時間の活動メニュー	28
8 機能訓練月別実施内訳	29
9 機能訓練別対象者数	29

あんの里居宅介護支援事業所

1 職員配置	30
2 介護計画書作成件数推移	30
3 契約者推移	30

あんどの里移動サービス

1	登録状況	30
2	利用実績	30

デイサービスあんどの里ありそ館

1	職員配置	31
2	介護保険収入等	31
3	デイサービス月別利用状況	31
4	要介護度別利用者数	32
5	サービスの状況	32
6	苦情解決の状況	32
7	余暇時間の活動メニュー	32
8	レジオネラ菌感染防止対策の状況	33
9	災害事故防止対策	33

ヘルパーステーションあんどの里ありそ館

1	職員配置	34
2	介護保険収入等	34
3	ヘルパーステーション月別利用状況	34
4	要介護度別利用者数	34
5	苦情解決の状況	34

デイサービス花みずき

1	職員配置	35
2	介護保険収入等	35
3	デイサービス月別利用状況	35
4	要介護度別利用者数	36
5	サービスの状況	36
6	苦情解決の状況	36
7	余暇時間の活動メニュー	36
8	レジオネラ菌感染防止対策の状況	37
9	災害事故防止対策	37

ヘルパーステーション花みずき

1	職員配置	38
2	介護保険収入等	38
3	ヘルパーステーション月別利用状況	38
4	要介護度別利用者数	38
5	苦情解決の状況	38

デイサービス花みずき三番館

1	職員配置	39
2	介護保険収入等	39
3	デイサービス月別利用状況	39
4	要介護度別利用者数	40
5	サービスの状況	40
6	苦情解決の状況	40
7	余暇時間の活動メニュー	40
8	レジオネラ菌感染防止対策の状況	41
9	災害事故防止対策	41

ヘルパーステーション花みずき弐番館

1	職員配置	42
2	介護保険収入等	42
3	ヘルパーステーション月別利用状況	42
4	要介護度別利用者数	42
5	苦情解決の状況	42

小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館

1	職員配置	43
2	介護保険収入等	43
3	月別利用状況	43
4	介護度別利用者数	44
5	サービスの状況	44
6	苦情解決の状況	44
7	余暇時間の活動メニュー	44
8	レジオネラ菌感染防止対策の状況	45
9	災害事故防止対策	45

障害者支援施設ひゞき ショートステイひゞき ひゞき計画相談支援事業所

1	職員配置	46
2	障害福祉サービス費等収入	46
3	障害福祉サービス費等収入(短期入所)	46
4	障害福祉サービス費等収入(計画相談支援)	46
5	短期入所利用状況	46
6	入所者の状況	47
7	健康診断実施状況	47
8	苦情解決の状況	47
9	機能訓練月別実施内訳	48
10	機能訓練別対象者数	48
11	年間の主な行事	48
12	栄養ケア・マネジメント	49

ぶどうの森

1	職員配置	53
2	障害福祉サービス費等収入	53
3	就労支援事業収入	53
4	利用者の状況	53
5	苦情解決の状況	53
6	災害事故防止対策	53

グループホーム花みずき弐番館

1	事業体制等	54
2	障害福祉サービス費等収入	54
3	入所者の状況	54
4	苦情解決の状況	54

ケアメントハウスあんどの里ありそ館

1	事業体制等	55
2	高齢者住宅事業収入	55
3	入居者の状況	55
4	苦情解決の状況	55

ケアメントハウス花みずき

1	事業体制等	56
2	高齢者住宅事業収入	56
3	入居者の状況	56
4	苦情解決の状況	56

ケアメントハウス花みずき弐番館

1	事業体制等	57
2	高齢者住宅事業収入	57
3	入居者の状況	57
4	苦情解決の状況	57

ケアメントハウス花みずき参番館

1	事業体制等	58
2	高齢者住宅事業収入	58
3	入居者の状況	58
4	苦情解決の状況	58

沿 革

H12.6.1	社会福祉法人海望福祉会 発起人会設立
H13.8.20	社会福祉法人海望福祉会設立認可 設立総会
H13.8.24	社会福祉法人海望福祉会 法人登記
H14.4.15	特別養護老人ホームあんどの里(定員50名) 第1670400298号
H14.4.16	あんどの里指定通所介護事業所(定員26名) 第1670400306号
H15.8.1	あんどの里居宅介護支援事業所 第1670400371号
H15.10.1	特別養護老人ホームあんどの里(短期入所生活介護) 第1670400397号
H16.9.1	あんどの里デイサービス花木 第1670102902号(現:デイサービス花みずき)
H18.4.12	特別養護老人ホームあんどの里入所定員の認可 (50名→80名)
H18.4.12	身体障害者療護施設ひゞき(定員20名) 第16000100313412号
H18.4.12	ショートステイひゞき(定員2名) 第16000100313131号
H18.10.1	あんどの里デイサービス花みずき定員(20名→25名)変更
H19.4.1	ヘルパーステーション花みずき 第1670104262号
H19.4.19	介護あんしんアパート ケアメントハウス花みずき(18室) (現:有料老人ホーム)
H20.4.1	障害者支援施設ひゞき 第1610400028号 生活介護(定員20名) 施設入所支援(定員20名) (障害者総合支援法移行の為)
H21.4.1	デイサービス花みずき式番館 第1670104833号
H21.4.1	ヘルパーステーション花みずき式番館 第1670104841号
H21.4.1	グループホーム花みずき式番館(障害者)(定員4名) 第1620100154号
H21.4.1	デイサービス花みずき式番館(基準該当生活介護) 第1640100382号
H21.9.1	あんどの里デイサービスセンター定員変更 26名→35名
H21.10.1	デイサービス花みずき(基準該当生活介護・基準該当自立訓練) 第1640100390号
H22.8.19	ケアメントハウス 花みずき式番館 高齢者円滑入居賃貸住宅登録 第38号(現:有料老人ホーム)
H23.1.20	ケアメントハウス花みずき参番館 高齢者円滑入居賃貸住宅登録 第57号(現:有料老人ホーム)
H23.4.1	小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館 第1690100399号
H23.4.1	デイサービス友道 第1670400579号
H23.11.1	あんどの里デイサービス定員変更 (35名→40名)
H24.4.20	ケアメントハウスあんどの里ありそ館 サービス付き高齢者向け住宅 第4号
H24.6.1	デイサービスあんどの里ありそ館 第1670400611号
H24.6.1	ヘルパーステーションあんどの里ありそ館 第1670400603号
H24.9.15	ショートステイひゞき定員変更 (2名→3名)
H25.7.1	ケアメントハウス花みずき 居室数変更 (18室→21室)
H26.4.16	特別養護老人ホームあんどの里東館(30名) 第1670400678号 (一部ユニット型特別養護老人ホーム等の廃止に伴う)
H26.4.16	特別養護老人ホームあんどの里東館 ユニット型短期入所生活介護 第1670400678号
H26.12.10	あんどの里本館1F増築改修工事 事業費 22,630千円
H28.2.1	ひゞき計画相談支援事業所 第1630400040号
H28.6.1	ヘルパーステーションあんどの里ありそ館 第1610400150号(居宅介護、重度訪問介護、行動援護)
H28.8.1	中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業 事業費 74,000千円 (あんどの里、ひゞき)
H28.10.1	魚津市介護予防・生活支援サービス総合事業の指定(サービスA) あんどの里デイサービスセンター、デイサービス友道、デイサービスあんどの里ありそ館
H29.4.1	富山市介護予防・日常生活支援総合事業の指定 デイサービス花みずき、デイサービス花みずき式番館
H29.5.21	生活困窮者就労訓練認定事業人認定 第1620400034号
H30.3.1	津波時における魚津市一時避難施設としての使用に関する協定を締結
H30.3.16	魚津市日中一時支援事業所 受託
H31.3.1	ぶどうの森(富山県指令障第747号) 1610400234号 (就労継続支援B型)
R2.3.31	デイサービス友道 事業統合のため閉鎖
R2.4.1	ぶどうの森(富山県指令障第708号) 1610400234号(生活介護事業) 多機能型事業所(就労継続支援B型 14名 生活介護事業6名)
R3.12.23	ぶどうの森工房改築(やきいも・ほしいも製造販売)
R6.4.30	デイサービスあんどの里ありそ館(休止)
R6.6.1	あんどの里デイサービスセンター 定員変更(40名→30名)
R6.8.8	令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰奨励賞受賞

法人

令和7年3月31日 現在

1 法人の概要

主たる事業所の所在地 富山県魚津市仏田3468番地
代表者 理事長 大崎利明
法人認可年月日 平成13年8月20日
法人認可番号 富山県 高第1185号
設立登記年月日 平成13年8月24日

2 法人の行う事業

(1) 第一種社会福祉事業

施設種別	特別養護老人ホーム	障害者支援施設
施設名称	あんどの里	ひゞき
管理者	大崎雅子	大崎雅子
定員	80名	20名

(2) 第二種社会福祉事業

施設種別	老人短期入所事業	老人デイサービス事業
施設名称	あんどの里	あんどの里
管理者	大崎雅子	大崎雅子
定員	空床型	30名

施設種別	老人デイサービス事業 (富山型)	老人デイサービス事業 (富山型)
施設名称	花みずき	花みずき式番館
管理者	幾島敦子	西田夕愛
定員	25名	10名

施設種別	老人居宅介護事業	老人居宅介護事業	老人居宅介護事業	小規模多機能型 居宅介護事業
施設名称	あんどの里ありそ館	花みずき	花みずき式番館	花みずき参番館
管理者	中西英司	村井良多	小林一行	柴山友一
定員	—	—	—	25名

施設種別	障害者短期入所事業	障害者共同生活援助	就労継続支援B型 生活介護事業
施設名称	ひゞき	花みずき式番館	ぶどうの森
管理者	大崎雅子	前田昌美	藤山洋樹
定員	3名	4名	20名

(3) 公益事業

施設種別	居宅介護支援事業所	計画相談支援事業所	サービス付き高齢者向け住宅
施設名称	あんどの里	ひゞき	あんどの里ありそ館
管理者	宮崎美智子	碓井秀樹	宮野恵
居室数	—	—	19室

施設種別	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム
施設名称	花みずき	花みずき式番館	花みずき参番館
管理者	清河明彦	清河明彦	清河明彦
居室数	21室	20室	21室

施設種別	福祉有償運送	福祉有償運送
施設名称	あんどの里	花みずき
管理者	榎木孝司	清河明彦
居室数	—	—

3 役員等の状況

- (1) 定款上の定数 ① 理事 6名以上7名以内 ② 監事 2名
 (2) 役員等の名簿

役職名	氏名	職業
理事	大崎利明	(福)海望福祉会 理事長
	寺口憲雄	前・(福)海望福祉会 理事長代理
	伊東紀一	株式会社アイティオ 取締役相談役
	元野清光	株式会社ニイカワ広告社 取締役
	大崎雅子	(福)海望福祉会 総合施設長
	清河明彦	(福)海望福祉会 富山事業部本部長
	潮由加子	JP損保サービス 推進役
監事	本田百合子	本田百合子公認会計士・税理士事務所 所長
	殿村伸二	元・魚津市職員

4 理事会開催状況

開催年月日	出席者数	決議事項
第124回 理事会 R6.6.10	理事 7名 監事 1名	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度計算書類等について 3. 法人資産額の変更登記について 4. 定時評議員会の招集について 5. 令和6年度収支補正予算案について 6. 運営規程の変更について
第125回 理事会 R6.12.26	理事 7名 監事 1名	1. 富山県介護テクノロジー定着支援事業補助金について 2. 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金について 3. 令和6年度収支補正予算案について 4. 給与規程の変更について 5. 運営規程の変更について
第126回 理事会 R7.3.28	理事 7名 監事 2名	1. 令和6年度収支補正予算案について 2. 令和7年度事業計画について 3. 令和7年度資金収支予算案について 4. 就業規程の変更について 5. 育児・介護休業等に関する規程の変更について 6. ハラスメント防止に関する規程の変更について 7. 運営規程の変更について

5 評議員会開催状況

- (1) 定款上の定数 評議員 7名以上9名以内
 (2) 評議員の名簿

役職名	氏名	職業
評議員	高倉孝雄	魚津神社 宮司
	寺田清	大道建設工業株式会社 取締役
	伊藤甚宰	伊藤建設株式会社 代表取締役
	松木正夫	元・魚津市副市長
	本元義明	道下コミュニティセンター センター長
	山浦晴美	魚津市役所こども課 子育て支援コーディネーター
	新夕佳子	富山県教育委員会 幼児教育接続スーパーバイザー
	堀昭禎	魚津市施設管理公社 理事長

- (3) 評議員会

開催年月日	出席者数	決議事項
第92回 評議員会 R6.6.27	評議員 6名 理事 3名 監事 1名	1. 令和5年度計算書類及び財産目録について 2. 令和5年度事業報告について

6 監事の監査状況

	第1回	第2回
実施日	R6.5.28	R6.10.29
出席者	監事 2名	監事 2名
監査結果	指導事項なし	指導事項なし

7 寄付金の状況

(敬称略)

年月日	氏名	金額
R6.6.28	高倉 孝雄	8,979
R6.8.29	富山県善意銀行	110,000
R6.9.5	下村 美津子	50,000
R6.12.12	竹山 信美	50,000

(敬称略)

年月日	氏名	金額
R7.1.6	大崎 利明	1,600,000
R7.2.18	富山県善意銀行	58,000
R7.2.21	尾谷 秀雄	50,000
R7.3.11	匿名	5,000

8 資格取得の状況

令和7年3月31日現在

資格	人数		計	左記のうち、 介護職員（121名）に占める有資格者の割合
	正職員	準職員		
介護福祉士	73	13	86	71.1%
社会福祉士	9	0	9	7.4%
介護支援専門員	9	0	9	7.4%
精神保健福祉士	1	0	1	0.8%
実務者研修	8	1	9	7.4%
ホームヘルパー2級	2	7	9	
介護職員 初任者研修	10	8	18	22.3%

9 研修等参加の状況

内 容
令和6年度 新任職員ビジネスコミュニケーション研修
令和6年度 富山県福祉・介護職員合同入職式2024
技能実習指導員講習
令和6年度 富山県社会福祉法人経営者協議会 社会福祉法人経営セミナー
富山県栄養士会・日本栄養士連盟富山支部合同研修会
令和6年度 社会保障制度の改定に関する研修会
長野県社会福祉法人経営者協議会 令和6年度福祉経営セミナー
令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修
令和6年度 介護・福祉従事者のための記録研修
令和6年度 腰痛予防研修
令和6年度 新任職員介護技術実践サポート研修
令和6年度 認知症ケア研修
令和6年度 外国人介護職員向けオンライン研修
令和6年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(中堅職員コース)
令和6年度 富山県相談支援従事者初任者研修(全日程)
令和6年度 新任介護職員フォローアップ研修
2024年度 ユニットリーダー研修(講義・演習)
令和6年度 腰痛予防指導者育成研修(基礎編)
令和6年度 事務長・事務員研修会
令和6年度 富山県社会福祉法人経営者協議会セミナー(前期)
令和6年度 富山県災害派遣福祉チーム員登録研修
第43回 全国社会福祉法人経営者大会
令和6年度 認知症介護実践研修(実践者研修)
令和6年度 魅力ある職場づくりセミナー 人口減少時代を乗り切る若者採用のコツ!
生活指導員講習
令和6年度 腰痛予防指導者育成研修(フォローアップ編)
介護事業者の組織力向上研修 フォロワーシップによる組織力の向上
令和6年度 研修講演会「虐待防止研修」

内 容
メディカルケアネット盛気楼勉強会
外国人介護人材のための介護福祉士国家資格取得支援講座
令和6年度 特定給食施設等指導研修会並びに職域管理栄養士等研修会
東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会2024静岡大会
令和6年度 富山県相談支援従事者現任研修
令和6年度 高齢者虐待対応研修
魚津市「女性のためのキャリアデザインセミナー」
新川地域精神保健福祉推進協議会 講演会
令和6年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修チームリーダーコース
令和6年度 生活相談員研修会
令和6年度 東海北陸6県社会福祉法人経営者セミナー(愛知大会)
実際にあった虐待事案から学ぶ虐待防止
第27回社会福祉法人経営者青年会全国大会
ケアマネジャー・薬剤師の相互理解と連携強化のための研修会
令和6年度 社会福祉法人セミナー
令和6年度 全国社会福祉法人経営者青年会東海北陸ブロック定例勉強会
令和6年度 富山県災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修
令和6年度 介護職種の技能実習指導員講習
糖尿病療養指導・特定保健指導等従事者研修会
令和6年度 東海北陸地区身体障害者施設協議会職員研修
令和6年度 介護ロボット等導入シリーズ研修取組み成果報告会
令和6年度 富山県社会福祉法人経営者協議会セミナー(後期)
令和6年度 富山県障害者虐待防止・権利擁護研修会
令和6年度虐待防止研修～意思決定支援・権利擁護の理解～
令和6年度 サービス管理責任者研修(意思決定支援)
令和6年度 リフトリーダー養成研修
令和6年度 看護職員資質向上実務研修会
第46回 全国身体障害者施設協議会研究大会

研修受講のべ人数(オンライン含む) 134名

【法人内研修】

内 容
新人研修/新人リハビリ研修
福祉プロ養成研修 フェーズⅠ・Ⅱ研修
福祉プロ養成研修 フォローアップ研修
福祉プロ養成研修 中核人材研修
ハラスメント防止研修(一般職・管理職)
感染対策研修
医療的ケア研修
手洗い・汚物処理研修
褥瘡予防・看取り研修
身体拘束廃止・防止研修
高齢者・障害者虐待防止研修
事故防止・身体拘束防止・虐待防止研修

内 容
腰痛予防対策内部研修
業務継続計画研修(地震・大雪・洪水・感染症)
感染症及び災害に係る業務継続計画のための訓練・研修
身体的拘束等の適正化のための研修(動画視聴)
高齢者虐待防止に関する研修(動画研修)
新型コロナウイルス感染対応(ガウンテクニック)研修
食品衛生管理・吐物処理研修
介護技術(排泄)研修
利用者の急変時・転倒事故における対応研修
ケアマネジャーとの交渉についての勉強会
AED(心肺蘇生法)取り扱い講習会
認知症ケアについての研修

＜福祉プロ養成研修の内容＞

【フェーズⅠ】	【フェーズⅡ】
①チームケア実践スキル	①ご家族・地域に対する伝達力向上技法
②ご利用者・ご家族の満足度向上と効果的なコミュニケーション	②福祉サービスの課題解決技法Ⅰ
③介護スキルの継承と介護リスクの洗い出し	③福祉サービスの課題解決技法Ⅱ

10 実習等受入、講師・講演依頼

【実習等受入】

内 容	特 養	あんどテイ	ひゞき	(名)	
				居 宅	参 番 館
施設実習(短大、専門学校等)	7		4	1	
介護福祉士実務者研修	2				
その他	2	1		1	2

【視察・見学】

視察・見学者	内 容	受入先
黒部市労連女性部	施設紹介	あんどの里、ありそ館、ぶどうの森
富山市精神障害者家族会等連絡会	施設見学	ぶどうの森、ぶどうの森工房

【講師依頼及び事例発表】

主催者及び依頼者	内 容	講 師
富山技術専門学院	講師「介護職員初任者研修 ～介護の基本～」	居宅管理者、特養介護支援専門員
富山県立八尾高等学校	講師「マナー・接遇講座」	総合施設長
介護労働安定センター富山支部	講演「介護の仕事に誇りとやりがいを感じる職場づくり」	総合施設長
魚津市農林水産課	講演「6次産業化と農福連携の取組みについて」	総合施設長

11 災害事故防止対策

1 防災意識の高揚

- (1) 日常の防災及び事故防止の意識向上を図るため、職員の教育・訓練の徹底に努める。
- (2) 利用者の重度化に伴い、安全確保対策に万全を期す。
- (3) 災害や火災の状況を適切に把握し、避難誘導・消火等に対応できる体制を整備すると共に、福祉避難所の指定により、地域住民との連携をより一層推進する。

2 防火設備等の状況

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口 (非常口)	有	有 (10ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有 (防災素材使用)
	防火戸・防火シャッター	有	有 (5ヶ所)
消防設備	屋内消火栓設備	有	有 (8ヶ所)
	消火器	有	有 (本館19・東館10・屋外3)
	スプリンクラー専用送水口	有	有 (屋外1ヶ所)
	スプリンクラー設備	有	有
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	有
	非常警報設備	有	有
	避難器具 (救助袋)	有	有 (1ヶ所)
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (54ヶ所)
	防火用水	有	有
	非常電源設備	有	有
カーテン・布製ブラインド等の防災性能		有	有

3 消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の変更・届出	令和4年1月21日	防火管理者	大崎 雅子
------------	-----------	-------	-------

4 各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	立会者	記録
R6.9.2 富山県シェイクアウト訓練	—	防災委員	有
R6.10.22 総合防災訓練	有	防災委員	有
R6.11.5 魚津市シェイクアウト訓練	—	防災委員	有
R7.2.17 ひびき	有	防災委員	有
R7.2.18 特養本館	有	防災委員	有
R7.2.21 あんどの里デイサービスセンター	有	防災委員	有
R7.2.25 特養東館	有	防災委員	有

5 緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム	有	職員等緊急連絡網の整備	有
----------	---	-------------	---

6 防災設備等の保守点検の状況

業者による点検	点検事項	点検回数	点検者
	消防用設備点検	年2回	ユウホー設備株式会社
電気設備点検	年6回	一般財団法人 北陸電気保安協会	
自主点検	点検事項	点検回数	点検者
	消防用設備	年4回	防火管理者・庶務係
	建築設備 (防火戸も含む)	月1回	防火管理者・施設隊長
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
危険物設備	随時	防火管理者・庶務係	

12 地域における公益的な取り組み ～ユニバーサル就労～

◎◎ユニバーサル就労とは◎◎

「ユニバーサル就労」とは、生活困窮者や障害者、あるいは、病気等によって、就労意欲はあるが働きづらい状況にある方など、社会的支援が必要な人たちに、中間的就労(当法人の雇用による収入と生活保護費により、中間的自立を進める)や社会参画の機会を提供する取り組みです。

平成17年からの取り組みを実績として、平成 25 年度には魚津市の委託を受け、さらに自立支援プログラム推進事業をスタートしました。自立支援プログラム推進事業は、生活保護受給者などに、就労の機会を提供しながら、当法人での雇用を進め、地域社会の一員としての社会的自立や健康回復などをめざす自立支援事業です。そして、それらの事業は、平成 29 年 5 月に、生活困窮者就労訓練事業所として、富山県から認定を受けました。

1. 令和 6 年度の事業実績

(1) 令和 6 年度中のユニバーサル就労者人数 9 名

(2) 主な経費や財源の内訳

(単位:円)

主な経費	金額
給与・謝金 (9 名)	14,598,067
社会保険料	2,085,968
退職金制度掛金	229,238
制服代	103,945
合計	17,017,218

主な財源	金額
委託費(魚津市自立支援プログラム推進事業)	57,000
法人財源	16,960,218
合計	17,017,218

[事例]

無収入・ニートであった方に、平成 28 年 6 月から就労支援を行い、ボランティア、有償ボランティアの期間を経て、令和 2 年 6 月から非常勤職員として法人雇用しました。現在、その方は自立して生活されています。

2. ユニバーサル就労の実施内容

「ユニバーサル就労」では、障害者や生活保護受給者および生活困窮者に対し、中間的就労から経済的自立まで、一人ひとりに合わせて目標を設定しています。

本人の希望でいくつかの仕事を選択し、その方の状況に応じて、ボランティア、実費弁償程度での活動参加、中間的就労、雇用(最低賃金保障)、一般賃金(有資格者)へと段階を踏んで進めていきます。

本人の希望を聞きながら、仕事内容と就労時間、日数などを決め、その後は法人職員が挨拶や心構え、職業倫理、業務手順などについて細やかな育成指導を行っています。

就労の頻度は、週 1 回 2 時間程度のボランティアから、週 5 回 8 時間勤務まで、職務形態は様々です。

主な仕事の内容	
介護助手(資格取得者 1 名)	車椅子磨き、タイヤの空気入れ
レクリエーション補助	清掃(浴室、居室など)
シーツ交換	厨房での食材の切り込みや食器洗浄

3. ユニバーサル就労の実績

平成 17 年の取り組み開始から、障害者雇用を含め合計 53 名に就労支援を行い、一人ひとりの生活や能力に応じた働き方で、令和 7 年 3 月末現在では 9 名が就労中です。

13 腰痛予防対策

令和6年度 腰痛予防対策委員会 目標管理達成シート(あんの里)

組織目標:日々の腰痛予防の積み重ねにより、ご利用者・職員、双方にとって 安心かつ安全な介助法を ●ベッド高調整や、作業姿勢等の基本的な腰痛予防対策と各対策の フィードバックの徹底 ●リスクマネジメントの徹底 無理のない安全な介助の提供＝介助作業中の事故が発生しない	施設名:あんの里	施設長: 大崎雅子
	作成者: 笹原英希、濱田まどか、小林悠樹、山崎光秀	
	中間評価日	最終評価日
	令和6年10月31日	令和7年3月28日

活動項目 (立案時の活動項目)	中間評価(4～9月)		最終評価(10～3月)	
	進捗度	結果・成果 又は課題	進捗度	結果・成果 又は課題
1.腰痛予防関連の各研修 ①外部研修 ②伝達研修		【結果】 ①外部研修 今年度から新たに、ひゞき・ありそ館・花みずき3事業所で腰痛予防対策の取り組みを強化することとなった。 これまで腰痛予防基礎研修～腰痛予防指導者育成研修、リフトリーダー研修には、特養の本館・東館より各1名が参加していたが、外部研修の受講は新規の部署を優先することになったため、今年度は特養からの研修受講は見合わせる事となった。 ②伝達研修 リフトリーダー研修に参加したひゞき職員より、最新のリフト移乗介助のポイント等、試験内容について報告があり、福祉用具別研修指導者間ミーティングにて報告予定。	A	【結果】 ①外部研修 オンライン配信による「令和6年度介護ロボット等導入シリーズ研修(取組み成果報告会)」に参加した。 【今後の活動】 ①外部研修 報告された各施設ともに、全体の流れとしては、PDCAサイクルの手順に沿って取り組んでいる。 当施設においても、来年度は助成金制度等を活用し、見守りセンサーや床走行式リフター、または必要に応じてスライドストレッチャーの導入を検討していることから、導入前と導入後のKPI(重要業績評価指標)測定は、県への実績報告のためにも事前に行う必要がある。
2.腰痛予防対策委員会 会議、他活動 ①会議 ②目標管理設定・達成シート ③広報等(動画作成)	A	【結果】 ①会議 腰痛予防対策委員会が、隔月ごとにリーダー会議前の30分間で会議を行った。隔月であるが、必要に応じ翌月に会議を実施する場合もあった。 ②目標管理設定・達成シート 毎回、目標管理設定シート上、どの行程まで活動が進んでいるか、参考資料として活用した。 ③広報等(動画作成) 専門業者に福祉用具の紹介動画制作を依頼し、完成度の高いものとなった。施設見学者等に公開した。 【課題・対策】 ①会議 同一委員の意見に偏らないように、経験年数の浅い職員から順に意見を求めていく。 ③広報等(動画作成) YouTube等への動画のアップロードに至っていない。広報活動を有効に行うためにも、作成した動画のリンク先を法人の公式サイト上に掲載する必要がある。	A	【結果】 ①会議 ほぼ行程表通りの日程で会議を実施することができた。 ②目標管理設定・達成シート 前期と同様、目標管理設定・達成シートを活用し、進捗状況を各委員に説明した。 ③広報等(動画作成) YouTube等への動画のアップロードには至っていないが、前期同様に施設見学者等には動画視聴という形で活用している。

活動項目 (立案時の活動項目)	中間評価(4～9月)					最終評価(10～3月)																																																														
	進捗度	結果・成果 又は課題				進捗度	結果・成果 又は課題																																																													
3.施設内研修 ①福祉用具別指導 チェック ②指導ポイントの打ち 合わせ 福祉用具別研修指導 者間ミーティング ③新人リハビリ研修	B	<p>【結果・成果】 ①福祉用具別指導チェック 毎月の福祉用具別指導・チェック実行表を作成し、各福祉用具について指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="7">(回)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>53</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東館</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>一部に、毎月実施できていない委員や、指導を受けていない職員が散見されるが、各福祉用具を使用した移乗介助による事故は発生していない。</p> <p>③新人リハビリ研修 濱田理学療法士が新人職員を担当し、研修中。リフターの指導に関しては、新人職員1名の指導を継続中。</p> <p>【課題】 ①福祉用具別指導チェック 指導される側の職員から「指導者間で同じ移乗介助においても指導の内容が違う」との意見が複数あがる。</p> <p>②指導ポイントの打ち合わせ 日程が調整できず、延期している。</p> <p>【対策】 ②指導ポイントの打ち合わせ *指導ポイントの動画を作成し、指導者間で閲覧すべきか検討中。 *延期している福祉用具別研修指導者間ミーティングを、後期に実施する。</p>		(回)								4月	5月	6月	7月	8月	9月		本館	53	46	48	24	21	58		東館	18	36	32	18	24	20		B	<p>【結果・成果】 ①福祉用具別指導チェック 前期同様に毎月の福祉用具別指導・チェック実行表を作成し、各福祉用具について指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="7">(回)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東館</td> <td>33</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>37</td> <td>27</td> <td>18</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>各部署とも指導やチェックを実施したが実行表への記入漏れの場合も多々認められる。 各福祉用具の使用に起因するような移乗介助による事故は発生しなかった。</p> <p>②指導ポイントの打ち合わせ 前期に予定していた指導者間ミーティングを実施した。指導者専用の福祉用具別指導チェック表を作成し、指導者間で指導のポイント等、共通認識を持つことができた。</p> <p>③新人リハビリ研修 前期に引き続き濱田理学療法士が新人職員への研修を担当。 リフターやスライディングボードの指導に関しては、まだ新人職員の独り立ちには至っておらず、来年度に持ち越しで定期的な研修を継続する。</p> <p>【課題・対策】 ①福祉用具別指導チェック *福祉用具別指導・チェック実行表の記入漏れを防ぐため、設置場所を変更し、実行への意識を高めていく。 *依然として指導される側の職員から「指導者間で同じ移乗介助においても指導内容やポイントが違う」との意見があがることから、福祉用具別研修の指導者間ミーティングとは別に、福祉用具別指導・チェック実行表の指導チェックのポイントについてまとめた簡易的な表を作成し、第7回目の腰痛予防対策会議で説明を行った。</p>		(回)								10月	11月	12月	1月	2月	3月		本館	25	26	23	22	22	14		東館	33	27	26	37	27	18	
	(回)																																																																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																														
本館	53	46	48	24	21	58																																																														
東館	18	36	32	18	24	20																																																														
	(回)																																																																			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																														
本館	25	26	23	22	22	14																																																														
東館	33	27	26	37	27	18																																																														
4.ソフトツールの活用・ 更新等 ①移乗介助アセスメント フローチャート ②福祉用具別指導・ チェック実行表 ③居室別福祉用具 管理表 ④福祉用具動画 マニュアル ⑤個別介助動画 マニュアル	B	<p>【結果・成果】 ②福祉用具別指導・チェック実行表 活動項目3の①参照 ③居室別福祉用具管理表 ベッドの不具合等の場合にも有効に活用している。</p> <p>【課題】 ②福祉用具別指導・チェック実行表 活動項目3の①参照 ⑤個別介助動画マニュアル *作成しているものの閲覧していない職員も認める。 *介護システムのデータ制限による動画時間の制約がある。</p> <p>【対策】 ②福祉用具別指導・チェック実行表 活動項目3の①参照 ⑤個別介助動画マニュアル 個別介助動画専用のフォルダ、ファイル、または閲覧の実行表の作成を検討。</p>	B	<p>【結果・成果】 ②福祉用具別指導・チェック実行表 活動項目3の①参照</p> <p>【課題】 ②福祉用具別指導・チェック実行表 活動項目3の①参照 ⑤個別介助動画マニュアル 介護システムのデータ制限による動画時間の制約は改善に至っていない。</p> <p>【対策】 ③居室別福祉用具管理表 活動項目3の①参照 ⑤個別介助動画マニュアル 介護システムのストレージ拡大、データ圧縮ファイルの活用。</p>																																																																

活動項目 (立案時の活動項目)	中間評価(4～9月)		最終評価(10～3月)	
	進捗度	結果・成果 又は課題	進捗度	結果・成果 又は課題
5.腰痛実態調査 ① 前年度調査の分析とフィードバック ② 新人職員への腰痛実態調査(中間評価時) ③ 新人職員へのフィードバック ④ 全職員への腰痛実態調査(最終評価時)	B	【結果・課題】 ② 新人職員への腰痛実態調査(中間評価時) 本館の新人職員2名ともに、直近1か月の介助作業に伴う腰痛は「無」であったが、介助作業ごとのリスクの見積もりでは高リスクや中リスクと評価した作業項目も認めることから、該当する作業項目に対して下記の対策を進める。 【対策】 ② 新人職員への腰痛実態調査(中間評価時) 高リスクや中リスクと評価した作業項目として、頻度/作業時間(作業の連続性)や重量負荷の評価点数が高い傾向がある。 同一作業が連続しないよう、別の作業を入れたり、重量負荷に関しても無理をせず2人介助で対応すべきところは遠慮なくヘルプを求めようその都度、説明する。 また、腰痛予防のため、高リスクに該当する作業項目に関してはアシストスーツやコルセット装着の推奨を継続する。	A	【結果・課題】 ④ 全職員への腰痛実態調査(最終評価時)腰痛実態調査 ◎ 直近1か月の腰痛の有無 本館:R6.2月が63% → R7.3月が59%・・・やや改善 東館:R6.2月が56% → R7.3月が58%・・・ほぼ横ばい ◎ 直近1か月のもっとも強い痛み NRS:0/痛み無し ~ 10/想像できる最大の痛み 本館:R6.2月が3.53 → R7.3月が4.50 と、増大 東館:R6.2月が3.66 → R7.3月が4.63 と、増大 ◎ 直近1か月の痛みの平均レベル NRS:0/痛み無し ~ 10/想像できる最大の痛み 本館:R6.2月が3.00 → R7.3月が3.25・・・やや増大 東館:R6.2月が2.83 → R7.3月が3.27・・・やや増大 【考察】 ④ 全職員への腰痛実態調査(最終評価時) <直近1か月の最も強い痛みが増大した要因> * 痛みの程度が6以上と回答した職員の共通点として、年齢層が高めで、なおかつもともと腰部や頸部に椎間板ヘルニアやすべり症の診断歴があった。 * 後期より毎食時離床の徹底を進めており、連続的に行う移乗介助数が増えたこと。 * ベッド上でヘッドボード側へご利用者を移動する際、介助用グローブを使用したスライド移動ではなく、ご利用者を持ち上げて移動する職員が多くなった印象がある。 この介助方法は、身体負担も大きく、ご利用者の皮膚トラブルにもつながりやすい。 【対策】 ④ 全職員への腰痛実態調査(最終評価時) * 直近1か月の腰痛保有者の中でも、特に椎間板ヘルニアやすべり症等の診断歴にある職員に対しては、施設用のアシストスーツやマッスルスーツの装着、もしくは持参のコルセットの装着を義務付ける必要がある。 * スライディングボードやロールボード移乗から床走行式リフターによる移乗介助方法への変換を進めていく。 * ベッド上での移動の際は、介助用グローブを使用するよう朝礼等でその都度申し送る。
6.福祉用具の管理 *居室別福祉用具管理表と連動 ① メンテナンスチェックシートの作成 ② 業者点検 ③ 腰痛予防・リスクマネジメント委員による定期点検 ④ 介護ロボット導入の検討 ⑤ 補助金申請	A	【結果】 ① メンテナンスチェックシートの作成 ② 業者点検 計画通り実施。 ③ 腰痛予防・リスクマネジメント委員による定期点検 点検漏れの月もあり、腰痛予防対策委員会時の指摘によりその都度実施。 ④ 介護ロボット導入の検討 ⑤ 補助金申請 昨年度までは、床走行式リフターおよびスライド式ストレッチャーは、センサー類が装備されていないことから、介護ロボットとして補助金申請の対象となる福祉用具と認められていなかったが、本年度からは認められるようになった。 活動項目5の【対策】④を進めるため、本館においては床走行式リフター2台と常設のスリングシートを、また東館に関してもユニット(あやめ)にも床走行式リフター1台と常設のスリングシートの購入を検討する。 令和7年度の県の介護ロボットの補助金申請の公募は例年通りであれば9月となり、対象となる福祉用具の購入期間は4～12月と予想される。4月以降、各種リフター、スリングシートの購入を検討する。	B	

14 各委員会

◆◆ 感染予防委員会 ◆◆

委員会構成メンバー：施設長、法人事務局、主任・管理者、看護職、介護職、生活相談員、管理栄養士

主 旨	法人内各事業所の看護職員を中心に、新型コロナウイルス感染対策について検討する。					
4月	4/10		10月		10/8	
5月	5/14		11月		11/12	
6月	6/11		12月		12/10	
7月	7/9		1月		1/14	
8月	8/2		2月		2/12	
9月	9/10		3月		3/11	

◆◆ 褥瘡予防委員会 ◆◆

委員会構成メンバー：施設長、看護職、介護主任、介護職、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士

主 旨	褥瘡の高リスク者、初期症状発症者の有無を確認し、多職種協働によるアプローチからチームケアを行うことによって、褥瘡の発生を予防する。褥瘡が発生した場合には、嘱託医や医療機関と密接に連携し、早期治癒に努める。					
開催月	本館	東館	開催月	本館	東館	
4月	4/30	4/8	10月	10/30	10/29	
5月	5/30	5/13	11月	11/28	11/20	
6月	6/25	6/21	12月	12/26	12/3	
7月	7/30	7/5	1月	1/30	1/6	
8月	8/29	8/7	2月	2/27	2/4	
9月	9/27	9/20	3月	3/27	3/17	

◆◆ リスクマネジメント委員会（身体拘束廃止、虐待防止、事故防止） ◆◆

委員会構成メンバー：施設長、看護職、介護主任、介護職、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士

主 旨	より質の高いサービスを提供することを目的として、介護事故の防止、身体拘束廃止、虐待防止に努め、そのために必要な体制を整備するとともに、ご利用者一人ひとりに着目した個別サービスの提供を徹底し、組織全体でリスクマネジメントに取り組む。					
開催月	本館	東館	開催月	本館	東館	
4月	4/30	—	10月	10/31	10/16	
5月	5/31	5/21	11月	11/29	11/27	
6月	6/28	6/21	12月	12/27	12/25	
7月	7/31	7/16	1月	1/31	1/28	
8月	8/30	8/21	2月	2/28	2/22	
9月	9/30	9/16	3月	3/31	3/22	

15 受賞

令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰 奨励賞 社会福祉法人海望福祉会 特別養護老人ホームあんの里 受賞

「介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」は、令和4年12月に取りまとめた「介護職員の働く環境改善に向けた政策パッケージ」に基づき、職員の待遇改善、人材育成及び介護現場の生産性向上への取組が優れた介護事業者への表彰を通じた好事例の普及を図ることを目的に、令和5年度より実施されています。



私たち海望福祉会では、介護職員が安心して長く働き続けることができるよう、様々な取り組みを行っています。

これらの取り組みが認められ、令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞しました。

■ 介護職員の働きやすい職場環境づくりに資する取組

ア 職員の待遇改善に係る取組

● 具体的な取組内容

【育児・介護の両立に向けた積極的な環境整備について】

1) 出産後の職場復帰への支援

育児休業から復帰する前に、総合施設長との面談を行い、出勤時間、勤務時間、休日の調整など復帰後の勤務形態について相談をし、柔軟に対応し、ワークライフバランスをサポートしている

2) 男性職員の育児休業取得支援

3) 子の看護休暇、介護休暇、短時間正職員制度など柔軟な勤務制度

4) 業務により保育所預かり時間を延長した場合、その延長料金を法人が負担する

【外国人介護人材の積極的な雇用に向けた取組について】

家賃補助(留学生・技能実習生は全額)、各種家電の補助、法人による学費負担(留学生のみ)をしている。

【腰痛予防対策、ノーリフトケアへの取組(リフト浴や福祉用具・介護機器の導入)について】

1) 富山県の腰痛予防推進計画に則り、腰痛予防対策推進福祉施設(H29[〃])として介護技術を普及推進

2) 当施設の活動

・腰痛予防の視点を取り入れた介護マニュアルの作成・見直し・評価

・研修受講計画立案・評価

・職員に対するアンケート実施

・職場内研修の開催

・他施設の職員を受け入れ、介護研修の実施

・理学療法士、または介護職員で腰痛予防指導者育成研修を修了した者9名及びリフトインストラクターの資格を取得した者9名が、すべての介護職員を対象に、リフト操作時の手順や注意事項がマニュアル通りに確実に実行されているかを確認するチェックテストを行っている

【ユニバーサル就労(中間的就労や法人雇用)の推進(対象:障害者や生活困窮者、生活保護受給者など)】

職域の分担(専門職の業務領域と生活支援・周辺業領域)を明確にし、業務全体の重複や負担(ムダ・ムリ・ムラ)を解消することで、雇用の安定化を図る

●アピールポイント

1. 育児について

職場復帰率 100%(H19~R4 毎年度 100%)

育児休業取得者数 計 24 名(H19~R4)

短時間正職員制度利用 計 9 名(H27~R4)



2. 外国人介護人材の受け入れについて

1) 積極的な受け入れについて

留学生 2 名、技能実習生 3 名、特定技能 3 名の受け入れ

3. 腰痛予防対策について

1) 腰痛予防対策推進福祉施設として研修参加や他施設からの研修生の受け入れを推進するなど、介護技術を普及推進している

2) 腰痛に関する職員アンケート結果(NRS 指標/痛みを数値で評価するための指標)

R3 年度 痛みの平均レベル 3.24 痛みの最大レベル 4.57

R4 年度 痛みの平均レベル 2.78 痛みの最大レベル 4.12

*腰痛が原因での離職者及び長期休暇者なし

3) 福祉用具、リフトの積極的な導入

4. ユニバーサル就労の導入について

・ユニバーサル就労者数・延べ人数 52 名(H17 年からの取組み~R5)

現在、法人全体で 10 名雇用している(内、特養は 4 名)

●今後の展望

1. 特養で進めてきた腰痛予防対策推進の取組を、法人内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームでも取り入れ、腰痛予防対策について各事業所の職員の理解を深め、安全な介護技術を身に付けることができるよう、理学療法士による研修指導や、介護現場での技術活用度・取り組みの浸透度を量る事業所責任者による巡回チェックなどを行う

2. 生産性向上委員会(旧 業務改善委員会)において、予定配置職員数の変動があっても、限られた職員数で、予定通りの質のよい入浴サービスを安定して提供できるようにプロジェクトチームで定期的に検討会議を開催し、ハード面の改修やソフト面の改善を推進する

3. 行政や、自立相談支援機関をはじめとする関係機関、総合支援学校などと連携して、ユニバーサル就労(中間的就労や法人雇用)を継続的に推進する

質の良い入浴サービスを、より円滑に提供するためにはどうしたらよいだろうか

リフターの活用度を上げて入浴ケアサービスの流れ全体を見直してみても?



イ 人材育成に係る取組

●具体的な取組内容

【経験・役職に応じた研修について】

1) 外部講師によるキャリア階層別「福祉プロ養成研修」を実施し、職員の資質向上を図る

(1) キャリア階層別研修の開催

職員のキャリアに応じて、新時代の経営環境に対応できる組織人財・福祉プロフェッショナル人財に必要な能力を開発する

・組織人としての基礎研修 ・チームケア・組織運営、管理技術の習得 ・福祉プロとしての倫理観・プロフェッショナルマインドを学ぶ

(2) フォローアップ研修

上記キャリア階層別研修で学んだことを職場で実践活用し、その効果実績を職場全体で確認した上で、更なる業務改善につなげられるように、各職場の全職員参加による業務改善ミーティング型で実施チーム力や課題解決力を上げ、サービスの質の向上と職員のスキルアップ、職場改善を図る外部講師と施設長がオブザーバーとして参加する

2) 新人職員・中途採用職員の育成のために、プリセプター制度を導入し、介護技術習得支援とメンタルケアを行い、職場定着化を図る

【資格取得への支援について】

初任者研修、実務者研修の研修費負担

【キャリアパスについて】

目標管理や自己評価及び行動評価表を用いた定期面談(総合施設長と直属の上司による面談)

【外国人材の育成について】

それぞれの介護技術や日本語の習得状況に応じた個別育成計画を策定し、毎日面談とふりかえりを実施

・利用者一覧、業務マニュアル、業務スケジュール表をわかりやすい日本語で記載

・看護師や理学療法士等の各専門職からの技術指導

・日本語教育

・雇用条件についての正しい理解促進や生活・心身面の健康を保つために、通訳を交えて、本人、総合施設長、法人事務局、介護長、指導担当者、監理団体や登録支援機関の担当者などが参加する面談を毎月実施している

・生活上の困りごとや居住地区の共同ルールの相談指導

●アピールポイント

1. 経験・役職に応じた研修について

* 入社1年目の定着率 100% (H25、H28～30、R2～R5 採用者)

(H26 採用者なし、H27、R1 採用者はそれぞれ1名退職)

* 入社3年目の定着率

100% (H25～採用の職員について、上述の退職者以外退職者なし)

2. 資格取得への支援について

福祉系ではない高校卒、大学卒、異業種からの転職者に資格取得支援を行っている

* 介護職員実務者研修 計16名 (H28～R5) 1,605,343円

* 介護職員初任者研修 計3名 (H28～R3) 241,164円

3. キャリアパスについて

職位ごとの職責と役割、求められる能力レベル、職位と等級の関係を明確に示したキャリアパスフレームを職員に周知している

4. 外国人介護人材の育成について

外国人留学生 介護福祉士養成校卒(ベトナム)1名

技能実習生(ミャンマー) 3名

特定技能(ミャンマー)2名、(タイ)1名

外国人介護人材は、当法人で長期的に働くことを希望している

●今後の展望

1. 「福祉プロ養成研修」①外部講師によるキャリア階層別研修 ②フォローアップ研修を継続する
2. 新人職員・中途採用職員の育成のためのプリセプター制度を継続する
3. 資格取得支援として初任者研修、実務者研修の研修費負担を継続する
4. 目標管理や自己評価及び行動評価表を用いた定期面談(総合施設長と直属の上司による面談)を継続する
5. 技能実習生や特定技能などの外国人介護人材が日本人と同等の労働ができるようになることをめざし、夜勤業務に従事できるようになる、介護の専門職として担当者会議に参画できるようになる、各種委員会活動の役割を果たすことができるようになるなど、業務の幅が広がるように育成指導する

ウ 介護現場の生産性向上に係る取組

●具体的な取組内容

- 1)利用者と家族の意思決定を支援するため、医師・施設長・職員が参加するACP(人生会議)を開催
- 2)ユニバーサル就労者(中間的就労や法人雇用の障害者や生活困窮者、生活保護受給者など)が清掃やシーツ交換などの生活サポート業務を担うことで、介護福祉士をはじめとする専門資格を有する職員がご利用者に対する直接的な介護や生活支援、ソーシャルワークに専念できる体制を確保
- 3)ICTを活用した法人独自の介護記録システムを開発し、全事業所に導入
- 4)感染症発生時や災害発生時など、限られた人員でも、必要なサービスが円滑に提供できる体制づくり、BCP(業務継続計画)の策定

●アピールポイント

1. ユニバーサル就労者の雇用によって、専門資格を有する職員がご利用者に対する直接的な介護や生活支援、ソーシャルワークに専念できる体制を確保している。
2. ICTを活用した法人独自の介護記録システムを開発し、全事業所に導入することで負担軽減につなげている。
 - ・記録業務のための残業ゼロを実現
 - ・ケアプラン自動作成機能を搭載し、プラン作成時間を大幅短縮休日出勤(1ヶ月平均)・・・ H29 2.7日 ⇒ R5 0.5日
超過勤務(1ヶ月平均)・・・ H29 3.7時間 ⇒ R5 2.8時間
 - ・感染予防のガウンテクニック、移乗やポジショニングのマニュアル、経口維持ミールラウンド時のご利用者のご様子・嚥下状態などを、動画で職員全体に周知している
 - ・各種加算、科学的介護情報システム(LIFE)関連加算の取得に必要な記録業務を、システム活用により簡便化し、残業等を防ぐ個別機能訓練、栄養マネジメント強化、経口維持、口腔衛生管理、褥瘡マネジメント、科学的介護推進体制
 - ・介護現場と事務局のシステム連動により、請求処理にかかる時間の大幅短縮生活相談員の請求業務時間・・・ R3 3日 ⇒ R5 1日



●今後の展望

1. 音声で、介護記録の入力ができるように、介護記録システムとインカムの連動を図る。
2. カメラ機能付き見守り機器(地元の IT 企業の新標品開発に協力)とナースコール、インカム、介護記録システムの連動を図りながら、1 の音声入力と融合させる。更なる業務改善効果により時間効率の向上を図り、生み出した余裕時間をサービス向上にあてる。音声記録により収集データ量が増え、これを、より適正なケアプラン作成につなげる。
3. 勤怠管理システムと介護記録システムの連動を図り、管理業務と給与支払業務の双方の負担を軽減する。
4. ICT を活用して、個別機能訓練、栄養管理、口腔ケアの一体的取組を進める。

■ 実効性のある取組

ア 職員の業務への満足度

●定量的な変化

- ・取組前後の有給休暇(年間)の平均取得日数(1人当たり)による比較 H28 6.0 日/年(H29年3月時点)→ R4 13.1 日/年(R5年3月時点)

●定性的な変化

- ・職員から「腰痛予防の知識が無かった頃は、ひたすら従来の介護方法で働いてきたが、今は様々な福祉機器が導入され、腰痛予防の知識と技術を取り入れながら業務にあたることができ、現在は職場環境が改善されている」という声が聞かれる。福祉機器が現場に定着したきっかけは、マタニティ職員が福祉機器を大いに活用して、十分に現場に貢献できたことであった。そこから職員全員に福祉機器を活用する動きが広がり、定着していった。今は、マタニティや体調が心配な職員もリフトや福祉機器をフル活用しながら、体力に合わせた業務を遂行できるようになった。
- ・介護の両立に向けた積極的な環境整備について、職員から「ありがたい」という声があがり、「法人は職員のため出来ることを支援する、職員は法人のため出来ることをしよう、成長しよう」という気持ちを持ってくれるようになった
- ・外国人介護人材は、この職場で長く働きたいという希望を持っている
- ・ICT化や腰痛予防対策推進の取組を通じて、職員に、自分たちの職場改善を自分たちの手で行うという意識改革が起きた

イ 職員の負担軽減、サービスの質の確保

●定量的な変化

①法人独自の介護記録システムの導入

- ・記録業務のための残業ゼロを実現
- ・ケアプラン自動作成機能を搭載し、プラン作成時間を大幅短縮
休日出勤(1ヶ月平均)・・・ H29 2.7 日 ⇒ R5 0.5 日
超過勤務(1ヶ月平均)・・・ H29 3.7 時間 ⇒ R5 2.8 時間
- ・各種加算、科学的介護情報システム(LIFE)関連加算の取得に必要な記録業務を、システム活用により簡便化し、残業等を防ぐ
- ・介護現場と事務局のシステム連動により、請求処理にかかる時間の大幅短縮
生活相談員の請求業務時間 … R3 3 日 ⇒ R5 1 日

②腰痛予防に関する効果・腰痛に関する職員アンケート結果(NRS指標/痛みを数値で評価するための指標)

- R3 年度 痛みの平均レベル 3.24 痛みの最大レベル 4.57
- R4 年度 痛みの平均レベル 2.78 痛みの最大レベル 4.12
- ・腰痛が原因での離職者及び長期休暇者なし

③ユニバーサル就労(中間的就労や法人雇用)の推進(対象:障害者や生活困窮者、生活保護受給者など)

- ・職域の分担(専門職の業務領域と生活支援・周辺業領域)を明確にし、業務全体の重複や負担(ムダ・ムリ・ムラ)を解消することで、雇用の安定化を図る
- ・ユニバーサル就労者数・延べ人数 52名(H17年からの取組み～R5)

④多職種連携による看取りケアの推進、口腔ケアの徹底、ICTを活用して施設内外の医療職やソーシャルワーカーと情報共有

●定性的な変化

- ・年配の職員でも、経験の浅い職員でも、男性でも女性でも、妊娠中でも病後でも、すべての職員が長く働ける職場、腰痛の無い職場をつくろうという意識が職員の中に芽生え、設備改修までを視野に入れたプロジェクト活動をはじめようという自発的な行動につながった。
- ・ICTの活用や業務の見直しを、職員の視点・発想の転換とうまく混合させることにより、介護現場の業務整理が付き、身体的・精神的負担軽減、時間的余裕感を生み出すことができた。チームワーク力も向上し、人間関係もより良好になり、離職率が減り、新規学卒者、中途採用者の職場定着を図ることができている。このような安定感が生じてくると、更なる業務改善とサービスの質の向上に意欲が出てくると感じる。

ウ 職員の意見を聞く機会、協力体制

●定量的な変化

- ・「キャリアパス」目標管理や自己評価及び行動評価表を用いた定期面談(総合施設長と直属の上司による面談) 年2回
- ・「福祉プロ養成研修」②フォローアップ研修 定期開催 年2回
(フォローアップ研修の場で、チームで意思決定を行い、速やかに実行に移すことを重視している)

●定性的な変化

- ・定期面談の場で、総合施設長や直属の上司が職員の意見を聞く機会を設けている
- ・フォローアップ研修の場などで、職員の意見を聞く機会を設け、総合施設長や介護職だけでなく、看護師、理学療法士、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、事務員(会計担当、人事採用担当)など、多くの職種から、職場改善や設備改修について活発な意見が出されるようになった

エ 上記の他、取組による効果

●定量的な変化

定員 80名
看護・介護職員(常勤換算)1人当たり利用者数 1.8人/月(H28年3月時点)→1.7人/月(R4年3月時点)
平均介護度 H28 4.4、H29 4.4、H30 4.5、R1 4.6、R2 4.6、R3 4.6、R4 4.5

●定性的な変化

当施設の採用募集に応募した者から、
「積極的に福祉用具を取り入れていて、ここでなら自分でも介護職員として働けそうだと感じた」
「入職後の自分がステップアップしていく道筋とイメージをつけることができ、安心した」
「法人が高齢と障害の両方の事業をしていることの良さを感じているので、いろいろな経験を積み、長く勤務したいので、そのイメージが付き、意欲が出た」などの声があった

■ 持続性のある取組

ア 継続的に取り組む体制や仕組み

総合施設長と現場の各専門職が協議して、職場改善や働きやすい職場づくり、介護業務プロセスの見直し、必要な福祉介護機器の導入、建物設備改修を含めた施設整備、ICT化、人材育成・職場定着への取組、介護の質向上に向けた取組などを進めている

事業計画で、事業所ごとに、人材育成や業務プロセスに関する数値目標を立て、その目標達成に必要な多職種の職員で構成するプロジェクトチームを結成し、様々な取組を進めている

今年度、特養の事業計画では「ご利用者が重度化している現状であるが、予定配置職員数の変動があっても、限られた職員数で、予定通りの質のよい入浴サービスを安定して提供できるように、ハード面の改修やソフト面の改善に向けたプロジェクトチームをつくり、検討会議を開催する」という目標・実行計画のもとに、入浴機器の導入、建物設備の改修、入浴業務プロセスの見直し、重度化対応、ご利用者の満足度向上について協議し、1年の期間をかけて、生産性向上に向けた業務改善を進める予定である

イ 補助金等の活用状況（自己財源の活用状況）

H28 浴室整備工事費(座位浴導入) 12,699,864 円 ※法人自主財源

H29～H30 介護リフト 2,406,000 円 ※法人自主財源

H27～R5 ティルト型リクライニング車椅子、移乗用福祉用具導入費 3,050,278 円 ※法人自主財源

H28～R4 自動体位変換機能付きエアマットレス、自動除圧機能付きエアマットレス 774,180 円

R2 自動体位変換機能付きエアマットレス 762,300 円 ※新型コロナ補助金 762,300 円

H30～R1 特養 wi-fi 整備費 160,324 円 ※法人自主財源

R1～R2 介護記録用タブレット端末 305,040 円 ※法人自主財源

R1 インカム導入 1,316,020 円 ※法人自主財源

R3 特養 wi-fi 整備費、見守り機器(眠りスキャン)導入 1,898,200 円 ※令和2年度富山県介護ロボット導入拡大支援事業補助金 1,264,000 円

H28～R5 介護用3モーターベッド 6,227,446 円 ※法人自主財源

R1～R5 介護記録システム、勤怠管理システム 10,866,360 円 ※法人自主財源

R3 勤怠管理用タブレット端末 155,100 円 ※法人自主財源

R3 アシストスーツ 456,000 円 ※令和3年度富山県介護ロボット導入促進事業補助金 304,000 円

■ 横展開に向けた取組

ア 法人内の事業所や他法人への展開の可能性

■ 腰痛予防

特養と障害者支援施設で進めてきた腰痛予防対策推進の取組を、法人内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームに広げる計画を実行中である

・理学療法士による研修(福祉用具等)

・定期的に責任者による巡回チェックを実施し、研修で習得した技術が日々の業務に正しく反映されているかを確認する

実際に福祉機器を導入し、介護現場で効果を検証しながら、技術の浸透を図る中で、知識としては知っていても、常時行う技術として、トライアルアンドエラーを繰り返して現場に根付かせた実績があることから、巡回チェックの重要性が見えてきた。そういったノウハウを持って、他の事業所や他法人に展開できる強みがある

■ICT化・生産性向上

ICTを活用した法人独自の介護記録システムを開発し、全事業所に導入した実績があり、他の事業所や他法人に横展開できる

システム会社は、開発ソフトを販売することもできる

■ユニバーサル就労(中間的就労や法人雇用)の推進(対象;障害者や生活困窮者、生活保護受給者など)

職域の分担(専門職の業務領域と生活支援・周辺業領域)を明確にし、業務全体の重複や負担(ムダ・ムリ・ムラ)を解消することで、雇用の安定化を図ることができた実績があり、他の事業所や他法人に横展開できる

イ 取組の展開に向けた協力について

■腰痛予防

腰痛予防対策推進福祉施設として、研修参加や他施設からの研修生の受け入れを促進した実績もあり、理学療法士、または介護職員で腰痛予防指導者育成研修を修了した者及びリフトインストラクターの資格を取得した者を他の法人や事業所に派遣や視察の受け入れをすることができる



■ICT化・生産性向上

ICT化についての取組に係る視察等の受け入れの実績もあり、経験のある職員の派遣や視察に協力できる

■ユニバーサル就労(中間的就労や法人雇用)の推進(対象;障害者や生活困窮者、生活保護受給者など)

ユニバーサル就労についての取組に係る視察等の受け入れの実績もあり、経験のある職員の派遣や視察に協力できる



特別養護老人ホーム あんどの里

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	施設長	医師	生活相談員	介護支援専門員	看護職	機能訓練指導員	介護職	栄養士	事務職	宿直員	夜間巡回	営繕清掃	計(名)
正職員	兼1	-	1	1	4	1+兼1	33+兼1	1+兼1	1+兼3	-	-	兼1	42+兼8
準職員	-	兼3	-	-	1	-	8	-	1+兼1	-	-	6	16+兼4
委託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	2	8
(計)	兼1	兼3	1	1	5	1+兼1	41+兼1	1+兼1	2+兼4	3	3	8+兼1	66+兼12

【業務委託】 宿直・営繕・清掃 公益社団法人 魚津市シルバー人材センター

【業務委託】 給食 日清医療食品株式会社

【協力医療機関】 富山ろうさい病院、みのう医科歯科クリニック

2 介護福祉施設収入

【1】施設入所

(単位:円)

年度	延べ入所者数	介護報酬収益	利用者負担金	介護福祉施設サービス費	利用者負担金(介護保険適用外)	居住費	食費	合計
4	28,690	284,441,608	34,053,642	1,147,000	81,510	37,671,911	43,840,535	401,236,206
5	28,476	285,903,897	34,905,923	1,062,570	81,290	37,661,233	43,641,185	403,256,098
6	28,322	291,590,717	39,718,815	1,052,005	78,815	38,671,535	45,551,680	416,663,567

【1日あたり介護報酬算定入所者数】 77.6名(定員80名)

【2】被災地(石川県七尾市)より入所受入れ

(単位:円)

年度	延べ利用者数	介護報酬収益	富山県補助金(居住費/食費)	介護福祉施設サービス費	利用者負担金(介護保険適用外)	居住費	食費	合計
5	62	640,760	107,260	2,200	110	0	0	750,330
6	3	33,355	5,000	0	0	0	0	38,355

3 空床型短期生活介護施設事業収入

【1】ショートステイ/ミドルステイ

(単位:円)

年度	延べ利用者数	介護報酬収益	利用者負担金	介護福祉施設サービス費	利用者負担金(介護保険適用外)	滞在費	食費	合計
4	321	2,020,006	497,101	0	0	378,323	472,570	3,368,000
5	330	2,918,802	395,052	0	0	428,732	515,700	4,258,286
6	107	234,360	735,610	0	0	130,748	150,032	1,250,750

【2】措置(短期入所生活介護)

(単位:円)

年度	延べ利用者数	介護報酬収益	利用者負担金	介護福祉施設サービス費	利用者負担金(介護保険適用外)	滞在費	食費	合計
6	75	632,844	72,516	0	0	82,190	128,910	916,460

4 空床型短期入所利用状況

【1】ショートステイ/ミドルステイ

令和7年3月31日現在

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)	ひとり月あたり平均利用日数
延べ利用人数	4	0	0	8	0	0	13	8	5	22	16	31	107	8.9 日

【2】措置(短期入所生活介護)

令和7年3月31日現在

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)	ひとり月あたり平均利用日数
延べ利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	12	31	1	31	75	6.3 日

5 入退所者等の状況

令和7年3月31日現在

月	本体施設										入退所の状況						
	定員× 層数 (A)	(空床) 延べ 人数 (B)	延 べ 設 入 数 所 者 (C) = (A)-(B)	延 べ 入 院 者 数 (D)	外 泊 (D')	用 一 シ ョ ー ト ス テ イ 活 動 等 利 用 者 数 (E)	延 べ 設 入 数 所 者 (F) = C-D- D'-E	層 数 (G)	平 均 入 所 者 数 (H) = F÷G	新 規 入 所 者 実 人 数	施設退所者実人数					(計)	
											家 庭 復 帰	在 宅 復 帰	医 療 機 関 搬 送	他 施 設 へ 転 出	死 亡		
4	2,400	51	2,349	12	3	4	2,338	30	77.9	6	0	0	2	1	3	6	
5	2,480	30	2,450	0	0	0	2,450	31	79.0	3	0	0	0	0	4	4	
6	2,400	25	2,375	7	0	0	2,368	30	78.9	4	0	0	0	0	3	3	
7	2,480	29	2,451	49	0	8	2,410	31	77.7	3	0	0	0	0	3	3	
8	2,480	45	2,435	18	1	0	2,416	31	77.9	4	0	0	1	0	2	3	
9	2,400	11	2,389	0	0	0	2,389	30	79.6	1	0	0	0	0	1	1	
10	2,480	22	2,458	16	1	13	2,454	31	79.2	2	0	0	0	0	2	2	
11	2,400	25	2,375	82	1	8	2,300	30	76.7	2	0	0	1	0	1	2	
12	2,480	24	2,456	70	2	17	2,401	31	77.5	1	0	0	1	0	1	2	
1	2,480	58	2,422	62	0	53	2,413	31	77.8	1	0	0	1	0	2	3	
2	2,240	65	2,175	40	0	17	2,152	28	76.9	5	0	0	1	0	3	4	
3	2,480	107	2,373	18	1	62	2,416	31	77.9	3	0	0	1	0	4	5	
(計)	29,200	492	28,708	374	9	182	28,507	365	78.1	35	0	0	8	1	29	38	

※ R6.1~4月 被災地から入所受入れ(定員外)

6 入所者の状況

(1) 入所者の年齢構成等

令和7年3月31日現在

性別	年齢	年齢										(計)	年齢(歳)		
		60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上		最高	最低	平均
男性(名)		1	0	0	1	0	2	4	3	0	0	11	93	58	86.1
女性(名)		1	0	2	4	5	9	11	18	12	3	65	109	55	87.1
(計)		2	0	2	5	5	11	15	21	12	3	76			86.8

(2) 在所期間の状況

令和7年3月31日現在

性別	期間	期間						(計)
		1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上	
男性(名)		4	2	1	4	0	0	11
女性(名)		20	20	15	8	1	1	65
(計)		24	22	16	12	1	1	76

(3) 日常生活の状況

ア. 障害老人の日常生活自立度

令和7年3月31日現在

区分	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	(計)
本館(名)	0	0	1	0	1	12	20	4	8	46
東館(名)	0	0	0	1	2	1	12	2	12	30
(計)	0	0	1	1	3	13	32	6	20	76

イ. 認知症老人の日常生活自立度

令和7年3月31日現在

区分	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	(計)
本館(名)	0	6	4	7	10	9	10	0	46
東館(名)	0	0	0	4	8	5	12	1	30
(計)	0	6	4	11	18	14	22	1	76

ウ. 要介護度

令和7年3月31日現在

区分	1	2	3	4	5	(計)	平均要介護度
本館(名)	0	0	5	24	17	46	4.3
東館(名)	0	0	0	12	18	30	4.6
(計)	0	0	5	36	35	76	4.4

※障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1.交通機関等を利用して外出する 2.隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1.介助により外出し、日中は殆どベッドから離れて生活する 2.外出の頻度が少なく、日中も寝たきりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1.車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2.介助により車椅子に移乗する
	ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する 1.自力で寝返りをうつ 2.自力で寝返りも出来ない

※認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判定基準
I	*何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
Ⅱ	*日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
Ⅱa	*家庭外で上記Ⅱの状態が見られる
Ⅱb	*家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる(服薬管理、電話や訪問者の応対などができない)
Ⅲ	*日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
Ⅲa	*日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる
Ⅲb	*夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる
Ⅳ	*日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
M	*著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

7 入所者の健康診断実施状況

実施年月日	実施人数	検査項目	検査結果	検査機関
令和6年9月3日	46名	胸部レントゲン・心電図・採血	要受診 13名	一般財団法人北陸予防医学協会
令和6年9月18日	28名	胸部レントゲン・心電図・採血	要受診 26名	一般財団法人北陸予防医学協会

※要受診・・・嘱託医への確認を要する方の数

8 入所者の入院状況

内 訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間(計)
本館	実人数(名)	1	0	2	2	3	0	1	4	3	4	2	1	305
	入院延べ日数(日)	12	0	7	30	18	0	16	60	70	62	27	3	
東館	実人数(名)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	69
	入院延べ日数(日)	0	0	0	19	0	0	0	22	0	0	13	15	
(計)	実人数(名)	1	0	2	3	3	0	1	5	3	4	3	3	374
	入院延べ日数(日)	12	0	7	49	18	0	16	82	70	62	40	18	

9 看取り介護実施者数

内 訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間(計)
本館	男性(名)	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	女性(名)	1	2	0	1	0	1	1	0	1	1	0	3	11
東館	男性(名)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
	女性(名)	1	1	2	1	1	0	1	1	0	1	2	0	11
(計)	男性(名)	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	7
	女性(名)	2	3	2	2	1	1	2	1	1	2	2	3	22

10 感染症予防対策

(1) 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、ノロウイルス、MRSA、結核、疥癬等の予防対策及びその実施状況

予 防 対 策	実 施 状 況
手洗い、うがい	【実施対象者】全職員、入所者、デイサービス利用者、来訪者、業者
ゴム手袋、マスクの着用	【実施対象者】介護業務中の全職員
マスク着用、手指消毒、うがい	【実施対象者】全職員、来訪者、業者
消毒、殺菌液剤の使用による衛生管理	エタノール、ベンザルコニウム塩化物液、クロルヘキシジン、次亜塩素酸(ミルトン、ピューラックス)、サニベスト、プリジアプロ、A2ケアによる消毒と殺菌を実施
面会	従来型特養は介護ステーション前、ユニット型特養は居室内で面会を実施
予防接種	11月から入所者、全職員にインフルエンザ予防接種実施
勉強会の実施	全職員を対象とした施設内研修、勉強会を実施 ① 手洗い研修 ② ノロウイルス対策・汚物等の処理方法について実技実習
温度、湿度の管理と換気	空調設備で温度は自動に設定し調整。加湿器をフロアと居室に設置し、湿度を調整。また、定期的に窓を開け、外気を入れて換気を行う
体調不良者の個室管理	体調不良者が発生した場合、個室または静養室で静養していただき、経過記録と状態管理を行う

(2) レジオネラ属菌等の感染防止対策の状況

区 分	浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	末端給湯栓温度	清掃回数	レジオネラ属菌検査		貯湯タンクの清掃実施年月日
					検査実施年月日	検査結果	
浴 槽	循環式	測定記録あり		週6回	令和6年12月10日	指摘事項なし	
給湯設備	貯湯タンク		60℃	年1回			令和6年10月8日

11 機能訓練・評価月別実施内訳

(延べ実施回数:a~m)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)
介助歩行	80	63	73	73	72	81	84	70	66	52	56	45	815
階段昇降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本姿勢・動作	99	106	110	99	133	86	118	124	72	87	82	66	1,182
起立動作	89	94	111	108	107	110	117	101	98	82	93	79	1,189
移乗動作	109	105	125	133	125	132	154	124	115	80	96	80	1,378
関節可動域訓練	122	152	175	178	131	161	179	145	142	107	125	116	1,733
筋力訓練	74	94	89	90	65	77	99	78	70	54	62	68	920
集団体操	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体位交換、座位ホジションマニュアル 評価・作成・修正	74	64	73	66	82	68	68	66	57	46	37	42	743
車椅子駆動	40	32	36	40	27	42	49	36	32	25	15	20	394
評価(新規・定期評価、訓練時評価)	163	170	193	184	200	177	201	167	158	162	137	102	2,014
補装具調整・修理・申請	6	5	5	4	12	11	3	7	5	4	7	7	76
コメント作成 (ケアプラン、ミールカード等)	75	75	72	74	80	66	81	82	63	75	66	43	852
リハビリ実施・コメント作成対象利用者 延べ人数	931	960	1,062	1,049	1,034	1,011	1,153	1,000	878	774	776	668	11,296
内部研修実施対象職員数 (新人リハビリ研修、腰痛予防対策委員による福祉用具別 研修・チェック指導)	78	92	81	46	46	80	58	54	49	59	50	34	727

(注)各項目の訓練内容

介助歩行訓練	手引き・杖・歩行器・シルバーカー歩行、平行棒内歩行
基本姿勢・動作訓練	寝返り・起き上がり・座位訓練
起立訓練	手引き、手すり把持、平行棒把持
移乗訓練	車椅子⇄ベッド間、車椅子⇄便座間、方向転換からの着座等

12 機能訓練・評価別対象者数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)
介助歩行	12	12	12	12	14	12	11	13	14	12	10	8	142
階段昇降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本姿勢・動作	26	34	26	27	37	15	26	30	24	21	25	17	308
起立	14	18	18	18	18	16	16	17	15	14	12	13	189
移乗	22	19	22	20	20	19	26	22	23	18	23	17	251
関節可動域訓練	14	20	26	28	24	26	24	24	24	21	22	19	272
筋力訓練	11	13	14	13	11	11	15	12	9	9	9	9	136
集団体操	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車椅子駆動	6	7	7	7	6	6	7	7	6	6	6	4	75
(計)	105	123	125	125	130	105	125	125	115	101	107	87	1,373

※1名につき、2種目以上の実施あり

13 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職名 総合施設長	職名 生活相談員	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

14 栄養ケア・マネジメント

令和7年3月31日現在

【1】(1) 給食に関する基本方針等

健康維持と生活の質の向上に食事の果たす役割は大きい。
 低栄養の予防・改善を目標に、入所者お一人おひとりにあった栄養ケア・マネジメントを行い、
 体調が安定した状態で生活できるように支援していく。
 また、安全な食事提供を行うことができるよう、食中毒の予防に徹する。
 入所者の皆様に楽しみとおいしさ、心身ともに豊かさを保てるような「食」を提供できるよう努める。

(2) 栄養量等の状況

内 訳	項目	エネルギー (Kcal)	たんぱく質 (g)	ビタミンC (mg)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	食塩相当量 (g)
本施設の栄養基準量		1,650	60	85	600	10.0	7.0
基準月の1日あたりの 平均栄養量		1,640	60.8	84	732	8.7	7.0

(3) 食事摂取の方法

経口摂取			経管栄養	静脈栄養	合 計
常食	やわらか食	嚥下食			
7 名	31 名	39 名	1 名	0 名	78 名

(4) 医師の食事せんに基づく特別食の提供状況

経管栄養のための濃厚流動食提供者数	療養食提供者数	特別な場合の検査食提供者数
1 名	11 名	0 名

(5) 食事の提供時間

朝 食	昼 食	夕 食
7:40 ~ 8:15	12:00 ~ 12:45	17:30 ~ 18:15

(6) 栄養管理委員会開催状況

回 数	構成メンバー	内 容
月1回実施、記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	管理栄養士、介護職員、看護職員	ご利用者の栄養状態、給食内容等

(7) 嗜好調査・残食(菜)調査の実施状況

嗜好調査の実施状況	年1回実施、記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (方法:職員による聞き取り)
残食(菜)調査の実施状況	実施頻度 <input checked="" type="checkbox"/> 毎食 <input type="checkbox"/> 定期(具体的に: 記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) ・ 不定期)

(8) 検食の実施状況

区 分	検食時刻	検査者職名及び検食者数	記録の有無
朝 食	7:20	宿直者	計1名 有
昼 食	11:30	看護職員、管理栄養士、介護職員のうちいずれかの者	計1名 有
夕 食	17:20	宿直者	計1名 有

(9) 厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	主な指摘・指導等の内容	左記に対する対応
令和6年10月13日	下処理の殺菌庫内にピーラーが直置きされているため、浮かせること。	殺菌庫内にフック付きの吸盤を設置して浮かせている。

(10) 給食の運営方法

委託先事業者名	日清医療食品株式会社
委託内容	食事サービス提供業務

* (1) (2) (5) (6) (7) (9) (10)は障害者支援施設ひびきと同じ

【2】 栄養ケア・マネジメント

(1) 食事形態状況

令和7年3月31日現在

経口摂取				経管栄養 (胃ろう)
主食		副食		
米飯	3名	常食	7名	1名
軟飯	9名	やわらか食	32名	
粥	42名	嚥下食	38名	
ミキサー粥	23名			
計	77名	計	77名	

【常食】
嚥む力、飲み込む力に問題のない方への食事

【やわらか食】
やわらかく煮込んだ食事

【嚥下食】
ムース状の食事

(2) 対象者の状況

令和7年3月31日現在

給与栄養目標量 (kcal)	男性	女性
1800 kcal 程度		1名
1700 kcal 程度	1名	1名
1600 kcal 程度	1名	3名
1500 kcal 程度		4名
1400 kcal 程度	2名	5名
1300 kcal 程度	3名	2名
1200 kcal 程度	2名	15名
1100 kcal 程度	2名	19名
1000 kcal 程度		7名
900 kcal 程度		2名
800 kcal 程度		7名

※日本人の食事摂取基準2021の推定エネルギー必要量を参照

(3) 栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメントの実施状況

令和7年3月31日現在

栄養アセスメントの実施状況		栄養ケア・マネジメントの実施状況	
身長	(有・無)	栄養ケア・マネジメント	(実施している) 実施していない
体重	(年12回測定) 無	経口維持加算とその割合	(実施している) 実施していない
定期血圧検査	(有・無)		I (63%), II (63%)
有病状況の把握	(有・無)	療養食加算とその割合	(実施している) 実施していない
			19%

(4) 栄養ケア・マネジメントの過程

● 栄養ケア・マネジメント

栄養ケア・マネジメントとは、健康の保持・増進のために最適な栄養ケアを提供することを目標として、スクリーニング(一定の基準によるリスクの判定・ふるい分け)を行い、栄養状態を的確に把握し、その評価・判定(栄養アセスメント)のもとに栄養ケア・栄養プログラムを計画する。

その計画の実施による栄養状態の変化のモニタリングから、計画等の評価と、再度栄養アセスメントを行い、その結果をフィードバックして、継続的にマネジメントする。

令和3年度から、施設系サービスにおいて、栄養ケア・マネジメントが基本サービスとして位置づけられたことにより、栄養マネジメント加算が廃止され、栄養マネジメント強化加算が新設された。栄養マネジメント強化加算は、これまでの栄養マネジメント加算が施設基準に組み込まれ、追加で栄養ケアに関する体制(管理栄養士の配置)の充実や、ミールラウンドなどによる丁寧な栄養ケアを評価するものである。

※ミールラウンド: 栄養アセスメントのスクリーニングで中リスク・高リスクと判断された方に対して週3回以上の食事観察を行うこと。低リスクの方でも日々の様子を確認し、状態に変化があればすぐに対応することなど、丁寧な栄養ケアを評価するものである。

● 栄養スクリーニング

下記のチェック項目より、低栄養状態のリスクレベルを判定し、病気の症状が現れる前に栄養に関する問題を発見することができるよう、概ね3か月に1回、栄養スクリーニングを実施している。

＜低栄養状態のリスクの判断＞

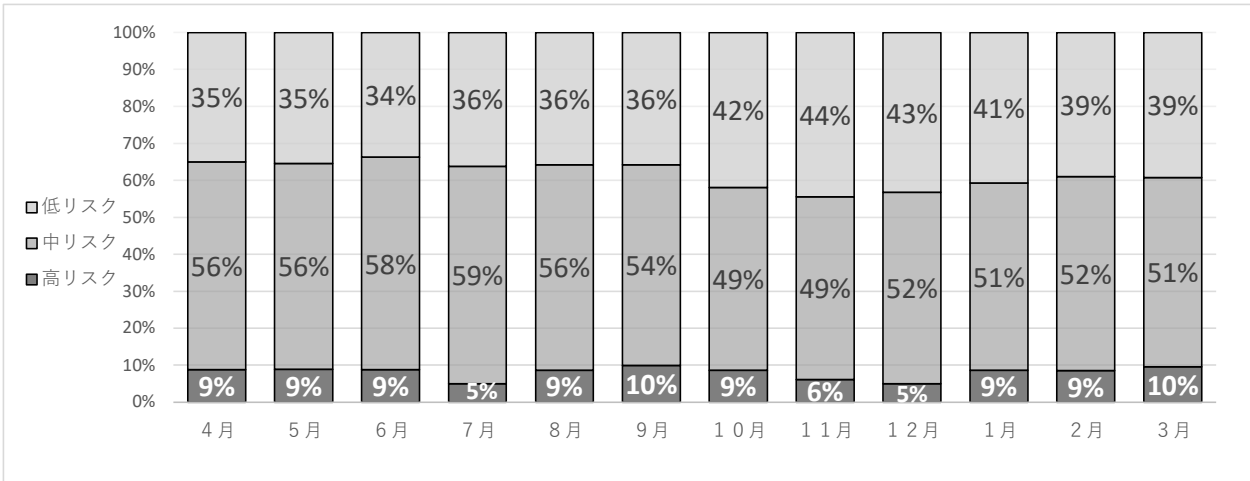
全ての項目が低リスクに該当する場合には、「低リスク」と判断する。高リスクにひとつでも該当する項目があれば「高リスク」と判断する。それ以外の場合は「中リスク」と判断する。ただし、BMI、食事摂取量、栄養補給法については、その程度や個々人の状態等により、低栄養状態のリスクは異なることが考えられるため、対象者個々の程度や状態等に応じて判断し、「高リスク」と判断される場合もある。

リスク分類	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	18.5~29.9	18.5未満	
体重減少率	変化なし (減少3%未満)	1か月に3~5%未満 3か月に3~7.5%未満 6か月に3~10%未満	1か月に5%以上 3か月に7.5%以上 6か月に10%以上
食事摂取量	76~100%	75%以下	
栄養補給法		経腸栄養 静脈栄養	
褥瘡			褥瘡あり

*BMIの計算式
体重(kg) ÷ 身長(m)²

*体重変化率の計算式
(通常体重-現在の体重) ÷ 通常体重 × 100

(3) 栄養スクリーニング月別内訳



低栄養状態のリスク分類の割合

年度	リスク分類(%)		
	高	中	低
令和4年度	9	52	40
令和5年度	10	47	43
令和6年度	8	54	38

要介護度

年度	区分						(計)	平均要介護度
	1	2	3	4	5			
令和4年度	2	0	3	31	43	79	4.5	
令和5年度	0	0	3	32	44	79	4.5	
令和6年度	0	0	6	37	35	78	4.4	

令和5年3月31日

令和6年3月31日

令和7年3月31日 (措置利用者含む)

(4) 経口維持支援の取り組み

ご利用者の認知機能が低下して食事がうまく摂取できなくなったり、摂食・嚥下機能の低下により食事の経口摂取が困難となったりしても、ご自分の口から食べる楽しみを得られるように、平成29年5月から、経口維持支援の取り組みを行っている。多職種が共同して、食事の観察(ミールラウンド)や会議を定期的に行っている。

この取り組みにより、摂食・嚥下困難、口腔機能低下、認知症等を原因とする食事の問題を評価することで、ご利用者に適した形態での食事の提供や、最後までおいしく口から食べることを目指した適切な支援ができるようになった。

算定要件・単位数

算定要件	経口維持加算(Ⅰ)	経口維持加算(Ⅱ)
算定要件	月1回以上、医師、歯科医師、管理栄養士、看護職員、介護支援専門員その他の職種の者が共同して、食事の観察及び会議等を行い、入所者等が経口による継続的な食事の摂取を進めるための経口維持計画を作成し、特別な管理を実施した場合に算定。	協力歯科医療機関を定めた上で、経口維持加算(Ⅰ)を算定している場合であって、食事の観察及び会議等に医師、歯科医師、歯科衛生士又は言語聴覚士のいずれか1名以上が加わることにより、多種多様な意見に基づく質の高い経口維持計画を策定した場合に算定。
単位数	一人当たり 400単位/月	一人当たり 100単位/月

一人当たり計500単位/月算定

●経口維持加算算定人数・加算収入(経口維持加算(Ⅰ)・(Ⅱ)を算定)

年度	延べ加算人数(名)	加算収入(円)
令和2年度	508	2,540,000
令和3年度	524	2,620,000
令和4年度	549	2,745,000
令和5年度	613	3,065,000
令和6年度	607	3,035,000



●経口維持支援に取り組むメリット

- ・ご利用者の食事状況をより細やかに評価することができるため、食欲不振や嚥下障害等により食事が減少しているご利用者でも、栄養バランスの良い食事を提供できるようになる
- ・専門職がそれぞれ感じている問題点を上げ、話し合う場を持つことができる
- ・ご利用者の変化に気づきやすくなり、問題点に対する対応策を多職種で協議した内容を、スムーズに現場にフィードバックできる
- ・歯科医療との連携により、歯の治療や義歯調整等、必要時に適切な歯科医療に繋ぐことができる

●経口維持支援まとめ

8年間の経口維持支援においては、ご利用者の口腔機能や咀嚼機能を重視し、その機能を改善・把握したうえで栄養管理を行うことが大切であると考えられました。認知機能や摂食・嚥下機能の低下により経口での食事摂取が困難になった場合でも、食事による楽しみを得られるように、また看取り期に入った方でも、多職種協働によって長年にわたり経口摂取を維持する支援が可能であったことが挙げられます。

また、咽喉マイクを使用することで、嚥下機能の低下に気づきにくいご利用者の機能低下を早期に把握し、食事状況を評価することができたことも大きなメリットでした。これらの支援により、食欲不振や嚥下障害などにより食事が減少しているご利用者にも、安全な食事形態で栄養バランスの良い食事を提供することができました。

栄養ケアマネジメントにおいては、平均要介護度がやや低下しており、今までとこれからは問題点が異なってくるのではないかと考えられます。低栄養リスク分類の割合では、高リスクの割合が前年度比で約2%減り、ご利用者の機能維持や栄養状態の安定に繋がっていると考えられます。

あんどの里デイサービスセンター

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	管理者	看護職	生活相談員	介護職	機能訓練指導員	栄養士	事務職	運転手 清掃	計(名)
正職員	兼1	兼2	1+兼2	5+兼4	兼3	兼1	兼1	-	6+兼14
準職員	-	-	-	2	兼1	-	-	4	6+兼1
(計)	兼1	兼2	1+兼2	7+兼4	兼4	兼1	兼1	4	12+兼15

【業務委託】 給食 日清医療食品株式会社

2 介護保険収入等

(単位:円)

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益	介護負担金収益他	合計
4	8,961	61,764,804	12,032,874	73,797,678
5	8,177	56,358,966	11,919,449	68,278,415
6	7,803	58,096,964	11,355,321	69,452,285

3 あんどの里デイサービスセンター月別利用状況

【1日あたりの利用定員】 通所介護+介護予防+新しい総合事業 30名
通所型サービスA(定員外) 午前5名/午後5名

令和7年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
前月末現在の登録者数(名)①	81	83	87	86	88	85	84	84	84	87	88	86	1,023
新規登録者数(名)②	2	9	1	3	0	2	3	2	5	3	2	5	37
登録廃止者数(名)③	0	5	2	1	3	3	3	2	2	2	4	4	31
当月末の登録者数計(名) =①+②-③	83	87	86	88	85	84	84	84	87	88	86	87	1,029
通所介護(名)	57	66	65	66	64	59	61	58	63	61	58	60	738
介護予防(名)	20	21	21	19	19	22	21	22	23	23	23	24	258
通所型サービスA(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用実人数(名) *当月中の登録廃止者も含む	77	87	86	85	83	81	82	80	86	84	81	84	996
未利用者数(名) *1	6	0	0	3	2	3	2	4	1	4	5	3	33
月間延べ利用者数(名)	605	754	682	726	691	653	674	629	612	545	581	651	7,803
1日体験利用者数(名)	1	0	1	4	1	3	3	6	4	3	0	6	32
1日平均利用者数(名)	23.3	27.9	27.3	26.9	25.6	26.1	25.0	24.2	25.5	22.7	24.2	25.0	25.3
通所型サービスA 1日平均利用者数(名)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*1.未利用者数… 契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者数

4 要介護度別利用者数

令和7年3月31日現在

区分	要支援※1		要介護					未認定	合計	平均要介護度 ※2
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	11	14	25	20	10	6	1	0	87	2.0

※1 要支援の欄には、通所型サービスAの利用者数を含む

※2 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

5 サービスの状況

(1) 入浴方法

令和7年3月31日現在

区分	一般浴※1	中間浴※2	特殊浴※3	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	65	19	1	2	87

※1 一般浴… 大浴槽で行う入浴

※2 中間浴… 1人用の浴槽で座った状態で行う入浴

※3 特殊浴… 寝た状態で、特殊機械浴槽を利用した入浴

(2) 食事状況

令和7年3月31日現在

区分	普通食	特別食 (糖尿病、塩分・加里制限等に対応)	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	84	1	2	87

(3) 食事介助状況

令和7年3月31日現在

区分	自立	一部介助	全介助	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	82	3	0	2	87

6 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への 報告
職名 管理者	職名 生活相談員	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	フラワーアレンジメント、季節の飾り、貼り絵、絵手紙
体力づくり	軽体操、数え歌体操、ゆとりっち体操、ラジオ体操、手指体操、歩行練習
個人活動	読書、オセロ、将棋、計算・漢字・脳トレドリル、ちぎり絵、絵手紙、囲碁、折り紙 フットマッサージ、パズル、ぬり絵

8 機能訓練月別実施内訳

*理学療法士による機能訓練

(延べ実施回数:a~i)

訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)
介助歩行訓練	123	155	141	142	135	125	139	121	122	101	114	149	1,567
階段昇降訓練	41	90	74	74	65	71	77	64	75	64	69	90	854
基本姿勢・動作訓練	9	8	8	8	8	8	8	9	8	8	7	6	95
起立訓練	67	84	78	79	79	77	76	73	74	59	71	83	900
移乗訓練	4	4	3	4	3	3	4	3	3	3	3	0	37
関節可動域訓練	102	127	110	110	103	101	107	96	99	74	82	111	1,222
筋力訓練	135	169	151	157	147	136	155	137	139	112	115	144	1,697
評価(新規・定期評価)計画書	8	9	14	10	7	12	11	8	9	11	11	10	120
実調	8	7	14	10	7	12	11	8	9	11	11	10	118
定期コメント	28	30	29	28	28	28	29	26	27	26	25	30	334

(注)各項目の訓練内容

介助歩行訓練	手引き・杖・歩行器・シルバーカー歩行、平行棒内歩行
基本姿勢・動作訓練	寝返り・起き上がり・座位訓練
起立訓練	手引き、手すり把持、平行棒把持
移乗訓練	車椅子⇄ベッド間、車椅子⇄便座間、方向転換からの着座等

9 機能訓練別対象者数

訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)
介助歩行訓練	27	32	31	30	30	29	30	29	28	27	28	33	354
階段昇降訓練	16	21	20	16	17	18	20	17	18	17	18	19	217
基本姿勢・動作訓練	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
起立訓練	14	18	15	16	16	18	18	16	15	16	14	14	190
移乗訓練	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
関節可動域訓練	22	26	24	23	22	22	22	20	20	21	17	19	258
筋力訓練	30	33	33	32	31	31	33	31	30	29	26	31	370
(計)	111	132	125	119	118	120	125	115	113	112	105	117	1,412

※1名につき、2種目以上の実施あり

あんどの里居宅介護支援事業所

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	管理者	介護支援専門員	事務職	計(名)
正職員	兼1	1+兼1	兼1	1+兼2

2 介護計画書作成件数推移

令和7年3月31日現在

要介護度 月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	6	6	27	16	11	10	3	79
5月	6	6	26	16	10	11	3	78
6月	6	6	25	18	8	11	2	76
7月	6	6	23	19	9	10	2	75
8月	6	6	25	16	9	10	2	74
9月	6	6	27	14	8	10	3	74
10月	5	8	27	13	8	10	3	74
11月	5	9	26	14	9	9	3	75
12月	5	9	26	13	8	9	3	73
1月	5	10	25	13	7	9	3	72
2月	5	10	22	15	5	7	3	67
3月	4	10	19	12	5	6	3	59
(計)	65	92	298	179	97	112	33	876

(件)

3 契約者数推移

令和7年3月31日現在

区分 月	新規	終了	当月にサービス 利用なし (入院等)	区分 月	新規	終了	当月にサービス 利用なし (入院等)
4月	4	0	0	10月	2	2	2
5月	2	2	0	11月	1	0	2
6月	1	3	0	12月	4	6	2
7月	2	1	1	1月	1	2	2
8月	2	2	2	2月	0	4	3
9月	2	2	2	3月	0	0	4

(名)

(名)

あんどの里移動サービス

1 登録状況

令和7年3月31日現在

自家用有償旅客運送 自動車数	車種	台数
	車椅子車	3台

運送区域	魚津市
------	-----

*発着のいずれかが魚津市内

登録者数	身体障害者	15名
	要介護認定者	4名

2 利用実績

令和7年3月31日現在

運送区域	魚津市	運送回数	19回
走行距離(延べ)	76Km	運送人数	19名
運送収入	14,400円		

デイサービスあんどの里ありそ館（令和6年5月1日より休止）

1 職員配置

令和6年4月30日現在

区分	統括 管理者	管理者	生活 相談員	看護職	機能訓練 指導員	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼6	兼1	兼1	兼6	兼1	兼17
準職員	-	-	-	兼2	兼2	兼2	-	兼6
(計)	兼1	兼1	兼6	兼3	兼3	兼8	兼1	兼23

【業務委託】 給食 日清医療食品株式会社

2 介護保険収入等

(単位:円)

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益	介護負担金収益他	合計
4	2,183	18,434,568	2,864,028	21,298,596
5	2,211	18,998,857	2,748,696	21,747,553
6	175	1,488,197	210,062	1,698,259

3 デイサービスあんどの里ありそ館月別利用状況

【1日あたりの利用定員】 地域密着型通所介護+介護予防+新しい総合事業 10名
通所型サービスA(定員外) 午前5名/午後5名

令和6年4月30日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
前月末現在の 登録者数(名)①	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
新規登録者数(名) ②	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
登録廃止者数(名) ③	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
当月末の 登録者数計(名) =①+②-③	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
通所介護(名)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
介護予防(名)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
共生型デイ(名)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
通所型サービスA(名)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
月間利用実人数 (名) *当月中の 登録廃止者も含む	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
未利用者数(名) *1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
月間延べ利用者数 (名)	175	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	175
地域密着型+予防 1日平均利用者数 (名)	7.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.9
通所型サービスA 1日平均利用者数 (名)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

*1.未利用者数… 契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

令和6年4月30日現在

区 分	要支援※1		要介護					未認定	合計	平均要介護度 ※2
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	1	3	3	5	3	1	0	16	2.7

※1 要支援の欄には、通所型サービスAの利用者数を含む

※2 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

5 サービスの状況

(1) 入浴方法 令和6年4月30日現在

区 分	一般浴	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	16	0	16

(2) 食事状況 令和6年4月30日現在

区 分	普通食	特別食 (糖尿病、塩分・加里制限等に対応)	合計
利用者数(名)	16	0	16

(3) 食事介助状況 令和6年4月30日現在

区 分	自立	一部介助	全介助	合計
利用者数(名)	15	1	0	16

6 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員へ の報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	カレンダー、ごみ箱、ぬり絵、貼り絵、季節の壁画、書道
体力づくり	軽体操、散策
ゲーム	風船バレー、ボーリング、玉入れゲーム、ありそ館かるた 絵合わせゲーム、言葉遊びゲーム、輪投げゲーム
個人活動	クロスワードパズル、読書、間違いさがし、家庭菜園、歌の会、お茶会

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週5回	令和7年2月26日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

- (1) 職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
- (2) 要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
- (3) 防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
- (4) 防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (4ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	有 (2ヶ所)
消防設備	屋内消火栓設備	無	
	消火器	有	有 (7本)
	スプリンクラー専用送水口	無	
	スプリンクラー設備	有	
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	有
	非常警報設備	有	有
	避難器具(救助袋)	無	
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (7ヶ所)
	防火用水	無	
非常電源設備	無		
カーテン・布製ブラインド等の防災性能		有	有

- (5) 消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出 平成31年4月9日	防火管理者	中西 英司
----------------------	-------	-------

- (6) 各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R6.10.17 消火・通報・避難訓練	有	無	有
R7.2.12 総合避難訓練	有	無	有

- (7) 消防査察等の状況

査察実施なし

- (8) 緊急時連絡網等の整備状況

緊急連絡網等の整備	有
-----------	---

- (9) 防災設備等の保守点検の状況

(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社ホクシ・システム

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主点検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備(防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

ヘルパーステーションあんの里ありそ館

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	統括 管理者	管理者	サービス 提供責任者	看護職	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼1	-	兼6	兼1	兼10
準職員	-	-	-	-	兼2	-	兼2
(計)	兼1	兼1	兼1	0	兼8	兼1	兼12

2 介護保険収入等

(単位:円)

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益他	介護負担金収益他	合計
4	11,478	22,493,742	3,181,623	25,675,365
5	11,866	24,875,407	3,485,418	28,360,825
6	14,090	29,959,813	4,446,977	34,406,790

3 ヘルパーステーションあんの里ありそ館月別利用状況

【障害福祉サービス指定 平成28年6月:居宅介護、重度訪問介護、行動援護 平成30年2月:同行援護】

令和7年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
前月末現在の 登録者数(名)①	19	20	19	20	22	22	22	21	21	22	22	22	252
新規登録者数(名)②	3	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	8
登録廃止者数(名)③	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
当月末の登録者数計(名) =①+②-③	20	19	20	22	22	22	21	21	22	22	22	22	255
訪問介護 月間利用実人数(名)	18	18	18	20	20	20	19	19	20	20	20	20	232
介護予防訪問介護 月間利用実人数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害福祉サービス居宅介護 月間利用実人数(名)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
未利用者数(名)*1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
訪問介護 月間延べ利用者数(名)	847	887	1,026	1,207	1,296	1,239	1,242	1,065	1,255	1,395	1,197	1,329	13,985
介護予防訪問介護 月間延べ利用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害福祉サービス居宅介護 月間延べ利用者数(名)	9	10	8	9	10	9	9	8	9	9	7	8	105
月間延べ利用者数の 合計(名)	856	897	1,034	1,216	1,306	1,248	1,251	1,073	1,264	1,404	1,204	1,337	14,090
訪問介護+介護予防訪問介護 1日平均利用者数(名)	28.2	28.6	34.2	38.9	41.8	41.3	40.1	35.5	40.5	45.0	41.3	42.9	38.2
障害福祉サービス居宅介護 1日平均利用者数(名)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3

*1.未利用者数…契約はされているが、入院や、入退居のため当月にサービス提供がされなかった利用者数

4 要介護度別利用者数

令和7年3月31日現在

区分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	0	7	4	5	4	0	0	20	2.3

5 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員へ の報告
職名 総合施設長	職名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

デイサービス花みずき

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	統括 管理者	管理者	生活 相談員	看護職	機能訓練指導員	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼4	兼1	兼1	兼5	兼1	兼14
準職員	-	-	-	-	-	兼6	-	兼6
(計)	兼1	兼1	兼4	兼1	兼1	兼11	兼1	兼20

【業務委託】 給食 スタミナフード株式会社

2 介護保険収入等

(単位:円)

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益	介護負担金収益他	合計
4	5,267	38,879,444	7,633,210	46,512,654
5	4,090	33,029,597	6,142,277	39,171,874
6	4,246	33,889,729	5,444,702	39,334,431

3 デイサービス花みずき月別利用状況

【1日あたりの利用定員】25名

令和7年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	22	23	20	23	22	21	23	21	21	22	20	21	259
前月末現在の 登録者数(名)①	27	28	28	27	25	27	26	24	26	26	28	29	321
新規登録者数(名) ②	1	0	0	1	2	0	0	2	0	2	1	1	10
登録廃止者数(名) ③	0	0	1	3	0	1	2	0	0	0	0	1	8
当月末の 登録者数計(名) =①+②-③	28	28	27	25	27	26	24	26	26	28	29	29	323
通所介護(名)	27	28	28	27	27	27	25	26	26	28	29	29	327
介護予防(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山型デイ(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用実人数 (名) *当月中の 登録廃止者も含む	27	28	28	27	27	27	25	26	26	28	29	29	327
未利用者数(名) *1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4
月間延べ 利用者数(名)	403	405	353	377	368	346	336	312	317	349	334	346	4,246
1日平均 利用者数(名)	18.3	17.6	17.7	16.4	16.7	16.5	14.6	14.9	15.1	15.9	16.7	16.5	16.4

*1.未利用者数… 契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者数

4 要介護度別利用者数

《介護保険》

令和7年3月31日現在

区分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度 ※1
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	0	6	12	5	4	2	0	29	2.5

※1 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

《障害福祉サービス》

令和7年3月31日現在

区分	障害程度区分						未認定	合計
	1	2	3	4	5	6		
利用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0

5 サービスの状況

(1) 入浴方法

令和7年3月31日現在

区分	一般浴	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	27	2	29

(2) 食事状況

令和7年3月31日現在

区分	普通食	特別食 (糖尿病、塩分・加里制限等に対応)	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	25	2	2	29

(3) 食事介助状況

令和7年3月31日現在

区分	自立	一部介助	全介助	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	25	1	1	2	29

6 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職名 総合施設長	職名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	書道、絵画、クラフト、塗り絵、カレンダー作り
体づくり	ゆとりっち体操、ハンドグリップ、散策、歩行練習、外気浴、抵抗運動
ゲーム	ビンゴ大会、的当て、玉入れ、綱引き、物送り
個人活動	読書、折り紙、ビデオ鑑賞、脳トレプリント、漢字の読み方クイズ トランプ、オセロ、ジグソーパズル、ブロックパズル、クロスワードパズル、 カラオケ、けん玉、タブレット脳トレゲーム、芋ほり

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び 給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度 測定実施及び 記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週5回	令和7年1月10日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

- (1) 職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
- (2) 要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
- (3) 防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
- (4) 防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による 設置義務の有無	整備状況
防火 設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (7ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	
消 防 用 設 備	屋内消火栓設備	無	
	消火器	有	有 (7本)
	スプリンクラー専用送水口	無	
	スプリンクラー設備	有	
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	有
	非常警報設備	有	有
	避難器具(救助袋)	無	
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (7ヶ所)
防火用水	無		
非常電源設備	無		
カーテン・布製ブラインド等の防災性能		有	有

- (5) 消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出	令和7年3月14日	防火管理者	村井 良多
------------	-----------	-------	-------

- (6) 各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R6.12.31 消火・避難訓練	有	無	有
R7.3.23 消火・避難訓練	有	無	有

- (7) 消防査察等の状況

なし

- (8) 緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム	有	緊急連絡網の整備	有
----------	---	----------	---

- (9) 防災設備等の保守点検の状況

(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社おみでんき

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主 点 検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備(防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

ヘルパーステーション花みずき

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	統括 管理者	管理者	サービス 提供責任者	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼1	兼5	兼1	兼7
準職員	-	-	-	兼6	-	兼6
(計)	兼1	兼1	兼1	兼11	兼1	兼13

2 介護保険収入等

(単位:円)

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益	介護負担金収益他	合計
4	10,944	24,460,072	4,543,419	29,003,491
5	10,586	22,386,093	4,208,012	26,594,105
6	8,957	19,274,954	3,135,535	22,410,489

3 ヘルパーステーション花みずき月別利用状況

令和7年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	31	31	31	28	31	366
前月末現在の登録者数(名)①	21	22	22	21	20	22	21	19	20	20	22	23	253
新規登録者数(名)②	1	0	0	1	2	0	0	1	0	2	1	0	8
登録廃止者数(名)③	0	0	1	2	0	1	2	0	0	0	0	2	8
当月末の登録者数計(名) =①+②-③	22	22	21	20	22	21	19	20	20	22	23	21	253
訪問介護 月間利用実人数(名)	22	22	22	22	22	22	20	20	20	22	23	22	259
介護予防訪問介護 月間利用実人数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未利用者数(名)*1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
訪問介護 月間延べ利用者数(名)	798	862	814	728	825	792	694	658	666	659	723	738	8,957
介護予防訪問介護 月間延べ利用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間延べ利用者数の合計	798	862	814	728	825	792	694	658	666	659	723	738	8,957
1日平均利用者数(名)	26.6	27.8	27.1	23.5	26.6	26.4	22.4	21.2	21.5	21.3	25.8	23.8	24.5

*1.未利用者数…契約はされているが、入院や、入退居のため当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

令和7年3月31日現在

区分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	0	5	7	4	4	2	0	22	2.6

5 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員へ の報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

デイサービス花みずき式番館

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	統括 管理者	管理者	生活 相談員	看護職	機能訓練指導員	介護職	事務職	その他	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼2	兼2	兼2	兼4	兼1	兼1	兼14
準職員	-	-	兼1	-	-	兼4	-	-	兼5
(計)	兼1	兼1	兼3	兼2	兼2	兼8	兼1	兼1	兼19

【業務委託】 給食 スタミナフード株式会社

2 介護保険収入等

(単位:円)

年度	延べ利用人数 (名)	介護報酬収益		障害福祉サービス事業収益 ※1		合計
		国保連合会	利用者負担金収益	国保連合会	利用者負担金収益	
4	2,783	20,483,193	2,689,929	0	0	23,173,122
5	2,854	22,692,833	3,269,389	0	0	25,962,222
6	2,817	23,453,953	3,073,488	0	0	26,527,441

※1 富山型デイサービスの収入

3 デイサービス花みずき式番館月別利用状況

【1日あたりの利用定員】 通所介護+総合事業 10名

令和7年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	24	26	313
前月末現在の 登録者数(名)①	24	25	24	24	24	23	22	24	23	24	23	23	283
新規登録者数 (名)②	1	0	1	0	0	1	4	0	1	0	0	1	9
登録廃止者数 (名)③	0	1	1	0	1	2	2	1	0	1	0	2	11
当月末の 登録者数計(名) =①+②-③	25	24	24	24	23	22	24	23	24	23	23	22	281
通所介護(名)	24	23	23	23	22	21	23	22	23	22	22	21	269
介護予防(名)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
富山型デイ(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用実人数 (名) *当月中の 登録廃止者も含む	25	24	24	24	23	22	24	23	24	23	23	22	281
未利用者数(名) *1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間延べ 利用者数(名)	253	269	250	239	177	221	221	253	235	229	234	236	2,817
1日平均 利用者数(名)	9.7	10.0	10.0	8.9	6.6	8.8	8.2	9.7	9.0	8.5	9.8	9.1	9.0

*1.未利用者数… 契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供が
されなかった利用者数

4 要介護度別利用者数

《介護保険》

令和7年3月31日現在

区 分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度 ※1
	支1	支2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	1	3	11	5	2	0	0	22	2.3

※1 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

《障害福祉サービス》 * 基準該当生活介護サービス

令和7年3月31日現在

区 分	障害程度区分						未認定	合計
	1	2	3	4	5	6		
利用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0

5 サービスの状況

(1) 入浴方法

令和7年3月31日現在

区 分	一般浴	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	22	0	22

(2) 食事状況

令和7年3月31日現在

区 分	普通食	特別食 (糖尿病、塩分・加里制限等に対応)	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	22	0	0	22

(3) 食事介助状況

令和7年3月31日現在

区 分	自立	一部介助	全介助	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	20	2	0	0	22

6 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 責任者	第三者委員等 の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員へ の報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	四季の装飾、習字、水彩画、大人のぬり絵
体づくり	個別体操、ゴムバンド体操、リズム体操、棒体操、歩行・階段訓練、エアロバイク、ステップ運動

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週6回	令和7年1月20日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

- (1) 職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
- (2) 要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
- (3) 防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
- (4) 防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (7ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	無 (防火防煙スクリーン 2ヶ所 有)
消防用設備	屋内消火栓設備	無	無
	消火器	有	有 (5本)
	スプリンクラー専用送水口	無	有
	スプリンクラー設備	有	有
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	無
	非常警報設備	有	無
	避難器具(救助袋)	無	無
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (9ヶ所)
防火用水	無	無	
非常電源設備	無	無	
カーテン・布製ブラインド等の防災性能		有	有

- (5) 消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出 平成22年6月8日	防火管理者	清河 明彦
----------------------	-------	-------

- (6) 各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R6.11.18 消火・通報・避難訓練	有	無	有
R7.3.24 消火・通報・避難訓練	有	無	有

- (7) 消防査察等の状況

査察実施あり

- (8) 緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム	無	緊急連絡網の整備	有
----------	---	----------	---

- (9) 防災設備等の保守点検の状況

(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社おみでんき

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主点検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備(防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

ヘルパーステーション花みずき式番館

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	統括 管理者	管理者	サービス 提供責任者	看護職	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼1	兼2	兼6	兼1	兼12
準職員	-	-	-	-	兼4	-	兼4
(計)	兼1	兼1	兼1	兼2	兼10	兼1	兼16

2 介護保険収入等

(単位;円)

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益	介護負担金収益	合計
4	9,843	24,357,974	3,179,582	27,537,556
5	8,823	25,511,583	3,365,521	28,877,104
6	8,214	21,357,961	2,805,747	24,163,708

3 ヘルパーステーション花みずき式番館月別利用状況

令和7年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
前月末現在の 登録者数(名)①	23	24	23	23	23	22	22	23	22	23	22	22	272
新規登録者数(名)②	1	0	1	0	0	2	3	0	1	0	0	1	9
登録廃止者数(名)③	0	1	1	0	1	2	2	1	0	1	0	2	11
当月末の登録者数計(名) =①+②-③	24	23	23	23	22	22	23	22	23	22	22	21	270
訪問介護 月間利用実人数(名)	23	22	22	22	21	21	22	21	22	21	21	20	258
介護予防訪問介護 月間利用実人数(名)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
未利用者数(名)*1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護 月間延べ利用者数(名)	752	733	778	791	811	530	588	636	680	691	619	605	8,214
介護予防訪問介護 月間延べ利用者数(名)	35	10	8	9	9	8	7	10	8	10	8	8	130
月間延べ利用者数の合計	787	743	786	800	820	538	595	646	688	533	627	613	8,344
1日平均利用者数(名)	26.2	24.0	26.2	25.8	26.5	17.9	19.2	21.5	22.2	17.2	22.4	19.8	22.4

*1.未利用者数…契約はされているが、入院や、入退居のため当月にサービス提供がされなかった利用者数

4 要介護度別利用者数

令和7年3月31日現在

区分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	1	2	11	5	2	0	0	21	2.4

5 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への 報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	管理者	看護職	介護支援専門員	介護職	事務職	その他	計(名)
正職員	兼1	2	兼1	5+兼1	兼1	0	7+兼4
準職員	0	1	0	1	0	1	3
(計)	兼1	3	兼1	5+兼1	兼1	1	10+兼4

【業務委託】 給食 スタミナフード株式会社

2 介護保険収入等

(単位:円)

年度	延べ利用人数 (名)	居宅介護料収益		合計
		国保連合会	利用者等	
4	289	57,804,875	11,237,649	69,042,524
5	286	56,781,317	12,340,014	69,121,331
6	285	57,761,492	11,779,156	69,540,648

3 小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館月別利用状況

【登録定員】25名

【1日の利用定員】通い 15名

宿泊 5名

令和7年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
前月末現在の 登録者数(名)①	24	25	24	24	24	24	23	23	24	24	23	24	286
新規登録者数 (名)②	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	4
登録廃止者数 (名)③	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	5
当月末の 登録者数計(名) =①+②-③	25	24	24	24	24	23	23	24	24	23	24	23	285
要介護(名)	24	24	24	25	25	24	24	23	22	24	23	23	285
要支援(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用者数(名)	24	24	24	25	25	24	24	23	22	24	23	23	285
未利用者数(名) *1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	6
月間延べ利用者数 (名)	635	650	660	700	710	676	701	683	689	777	814	738	8,433
1日平均利用者数 (名)*2	21.1	20.9	22.0	22.5	22.9	22.5	22.6	22.7	22.2	25.0	29.0	23.8	23.1

*1.未利用者数

契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者数

*2.1日平均利用者数

ひとりの利用者が、1日に通い・訪問・宿泊のいずれか複数のサービスを利用する場合があるため、1日平均利用者数が定員の25名を超える場合がある

4 要介護度別利用者数

令和7年3月31日現在

区 分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度 ※1
	支1	支2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	0	6	4	8	4	1	0	23	2.6

※1 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

5 サービスの状況

(1) 入浴方法 令和7年3月31日現在

区 分	一般浴	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	23	0	23

(2) 食事状況 令和7年3月31日現在

区 分	普通食	特別食 (糖尿病・塩分・加糖・制限等に対応)	合計
利用者数(名)	23	0	23

(3) 食事介助状況 令和7年3月31日現在

区 分	自立	一部介助	全介助	合計
利用者数(名)	21	1	1	23

6 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員へ の報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	鬼のお面、折り紙アート、七夕飾り、紅葉飾り
個人活動	読書、パズル、ぬり絵、漢字・計算プリント、習字、歌唱

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週6回	令和7年1月10日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

- (1) 職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
- (2) 要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
- (3) 防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
- (4) 防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (1ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (3ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	無 (防火防災スクリーン1ヶ所有)
消防設備	屋内消火栓設備	無	無
	消火器	有	有 (10本)
	スプリンクラー専用送水口	有	有
	スプリンクラー設備	有	有
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	無	無
	非常警報設備	無	無
	避難器具(救助袋)	無	無
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (4ヶ所)
防火用水	無	無	
非常電源設備	無	無	
カーテン・布製ブラインド等の防災性能		有	有

- (5) 消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出	令和5年9月15日	防火管理者	廣田 直美
------------	-----------	-------	-------

- (6) 各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R6.10.23 消火・通報・避難訓練(夜間想定)	有	無	有
R7.2.25 消火・通報・避難訓練(夜間想定)	有	無	有

- (7) 消防査察等の状況

査察実施なし

- (8) 緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム	無	緊急連絡網の整備	有
----------	---	----------	---

- (9) 防災設備等の保守点検の状況

(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社おみでんき

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主点検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備(防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

障害者支援施設ひつき ショートステイひつき ひつき計画相談支援事業所

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	施設長	医師	理学療法士	看護職	サービス管理責任者	相談支援員	生活支援員	栄養士	事務職等	計(名)
正職員	兼1	0	1	1	1	兼2	9	1	兼2	13+兼5
準職員	0	兼2	0	1	0	0	6	0	2	9+兼2
(計)	兼1	兼2	1	2	1	兼2	15	1	兼2+2	22+兼7

【業務委託】宿直 公益社団法人 魚津市シルバー人材センター

【業務委託】給食 日清医療食品株式会社

【協力病院】 富山ろうさい病院、榊崎クリニック

2 障害福祉サービス費等収入(生活介護・施設入所支援)

【定員】20名

(単位:円)

年度	延べ入所者数(名)	介護給付			合計
		国保連合会	国保連合会	利用者負担金	
4	6,911	125,308,070	2,129,522	10,483,656	137,921,248
5	7,078	124,420,310	1,548,019	11,378,865	137,347,194
6	6,962	125,961,930	1,755,825	11,308,874	139,026,629

3 障害福祉サービス費等収入(短期入所)

【定員】3名+空床型

(単位:円)

年度	延べ入所者数(名)	介護給付		食料、光熱費	合計
		国保連合会	利用者負担金		
4	785	6,262,551	695,839	675,678	7,634,068
5	944	7,901,451	877,939	832,888	9,612,278
6	787	7,040,241	782,249	737,245	8,559,735

4 障害福祉サービス費等収入(計画相談支援)

年度	計画者数(名)	自立支援給付費(円)
4	17	248,160
5	52	735,000
6	55	833,320

5 短期入所利用状況

【定員】3名

令和7年3月31日現在

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)	平均
利用者数(名)	12	14	15	11	6	12	12	12	10	10	11	13	138	11.5
(内訳)新規	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.2
再利用	12	13	15	11	6	11	12	12	10	10	11	13	136	11.3
延べ利用人数	69	77	81	67	32	75	70	73	34	72	70	67	787	65.6

6 入所者の状況

(1) 入所者の年齢構成等

令和7年3月31日現在

性別	年齢	20歳未満	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 以上	(計)	年齢(歳)		
														最高	最低	平均
男性(名)		0	0	1	1	1	0	2	2	4	1	1	13	70	24	53.1
女性(名)		0	0	0	2	0	1	0	1	2	1	0	7	75	36	59.3
計(名)		0	0	1	3	1	1	2	3	6	2	1	20			55.9

(2) 在所期間の状況

令和7年3月31日現在

性別	期間	1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～ 15年未満	15年以上	(計)	1人あたり 平均在所期間 (月)
女性(名)	1	3	0	1	2	1	8	11年7ヶ月	
計(名)	4	5	0	3	5	3	20	11年7ヶ月	

(3) 日常生活の状況

(ア) 障害支援区分

令和7年3月31日現在

区分	3	4	5	6	(計)
男性(名)	0	3	2	8	13
女性(名)	0	0	1	6	7
計(名)	0	3	3	14	20
割合(%)	0	15	15	70	100

(イ) 身体障害者手帳等級

令和7年3月31日現在

等級	1	2	3	4	5	6	(計)
実数(名)	15	5	0	0	0	0	20

(ウ) 手帳所持者の人数

令和7年3月31日現在

1) 療育手帳	4名
2) 精神保健福祉手帳	0名
(計)	4名

(エ) 重複障害の状況

令和7年3月31日現在

身体障害と知的障害と精神障害の重複	0名
身体障害と知的障害の重複	4名
身体障害と精神障害の重複	0名
身体障害	16名
(計)	20名

7 入所者の健康診断実施状況

令和7年3月31日現在

実施日	実施人数	検査項目	検査機関
令和6年9月18日	18名	心電図、胸部X線、血液	一般財団法人 北陸予防医学協会

8 苦情解決の状況

令和7年3月31日現在

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職名 総合施設長	職名 サービス管理責任者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

9 機能訓練・評価月別実施内訳

(延べ回数:a~m)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)
介助歩行	8	3	7	6	2	9	11	7	8	9	10	3	83
階段昇降	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
基本姿勢・動作	20	19	22	35	18	30	31	25	35	31	26	20	312
起立	8	3	7	9	5	11	11	8	10	9	10	8	99
移乗	34	29	29	38	19	33	39	27	28	22	31	21	350
ﾊﾞｯﾄﾞ・車椅子上関節可動域	62	53	56	72	24	53	54	42	58	53	42	38	607
ﾊﾞｯﾄﾞ上筋力	27	24	25	28	13	16	16	14	12	16	15	14	220
ホットバック	3	3	2	6	1	6	7	4	2	5	4	4	47
臥床ﾎﾞﾞｼﾞｮﾝｸﾞ 評価・ﾏﾆｭｱﾙ作成	23	16	13	19	10	17	22	15	19	13	11	10	188
補装具等の使用指導	28	17	17	28	11	19	17	14	11	17	12	12	203
補装具の調整・申請	4	2	2	2	6	4	3	3	5	2	3	3	39
評価(新規、姿勢・動作評価等)	46	43	41	58	34	48	46	41	64	50	38	33	542
ｺﾞﾙﾌ作成	6	3	6	6	9	4	5	4	18	13	9	4	87
実施者延べ人数	271	217	229	307	152	250	262	204	270	240	211	170	2,783
内部研修実施数 (腰痛予防対策委員、他PTによる)	0	1	1	0	0	1	0	16	52	66	52	35	224

(注)各項目の評価・訓練内容

介助歩行	歩行器歩行、平行棒内歩行
基本姿勢・動作	寝返り・起き上がり・座位
起立	平行棒把持含む

10 機能訓練・評価別対象者数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(名)
介助歩行	1	2	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	31
階段昇降	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
基本姿勢・動作	10	10	8	9	9	11	8	10	10	9	9	8	111
起立動作	2	2	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	33
移乗	8	9	8	7	10	9	10	8	9	8	9	7	102
ﾊﾞｯﾄﾞ・車椅子上関節可動域訓練	11	12	12	13	13	11	11	11	11	12	13	11	141
筋力訓練	6	5	8	5	9	5	5	6	4	6	5	6	70
ホットバック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臥床ﾎﾞﾞｼﾞｮﾝｸﾞ	3	5	6	4	5	4	5	6	5	6	3	5	57
補装具等の使用指導	6	5	6	8	5	5	4	5	4	5	4	5	62
補装具の調整・修理・申請	4	2	1	2	4	4	3	2	3	2	2	1	30
計(名)	53	55	57	53	61	56	53	55	53	55	52	50	653

※1名につき、2種目以上の実施あり

11 年間の主な行事

毎月開催しているもの	誕生会、意見交換会、リクエストランチ
主な年間行事	よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり、映画鑑賞会、オセロ大会 黒ひげ危機一髪ゲーム大会、ネイル、おやつ作り 秋祭り、豆まき、ひな祭り

12 栄養ケア・マネジメント

令和7年3月31日現在

【1】(1) 給食に関する基本方針等

<p>健康維持と生活の質の向上に食事の果たす役割は大きい。 低栄養の予防・改善を目標に、入所者お一人おひとりに栄養ケア・マネジメントを行い、 体調が安定した状態で生活ができるように支援していく。 また、安全な食事提供を行うことができるよう、食中毒の予防に徹する。 入所者の皆様に楽しみとおいしさ、心身ともに豊かさを保てるような「食」を提供できるよう努める。</p>
--

(3) 栄養量等の状況

内 訳	エネルギー (Kcal)	たん白質 (g)	ビタミンC (mg)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	食塩相当量 (g)
本施設の栄養基準量	1,650	60	85	600	10	7.0
基準月の1日あたりの 平均栄養量	1,637	60	84	732	8.6	7.0

(3) 食事摂取の方法

経口摂取			経管栄養	静脈栄養	合 計
常食	やわらか食	嚥下食			
10 名	6 名	3 名	1 名	0 名	20 名

(4) 医師の食事せんに基づく特別食の提供状況

経管栄養のための 濃厚流動食提供者数	療養食提供者数	特別な場合の検査食提供者数
1 名	1 名	0 名

(5) 食事の提供時間

朝 食	昼 食	夕 食
7:30 ~ 8:30	11:30 ~ 12:15	17:45 ~ 18:30

(6) 食事が適温で食べられるような配慮及び対応

<p>温冷配膳車等による食事の提供を行っている。 食器類(飯椀、汁椀、主菜皿)に蓋を使用し、保温効果を保ちながら乾燥を防ぐように努めている。</p>

(7) 嗜好調査・残食(菜)調査の実施状況

嗜好調査の実施状況	年1回実施、記録(有)・無
残食(菜)調査の実施状況	実施頻度(毎食) 定期(具体的に:)・不定期) 記録(有)・無

(8) 検食の実施状況

区 分	検食時刻	検査者職名及び検食者数	記録の有無
朝 食	7:20	夜勤者 計1名	有
昼 食	11:20	早番者、日勤者、管理栄養士のうち、いずれかの者 計1名	有
夕 食	17:30	夜勤者 計1名	有

(9) 厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	主な指摘・指導等の内容	左記に対する対応
令和6年10月31日	特になし	

(10) 給食の運営方法

委託先事業者名	日清医療食品株式会社
委託内容	食事サービス提供業務

* (1) (2) (5) (6) (7) (9) (10)は特別養護老人ホームあんの里と同じ

【2】 栄養ケア・マネジメント

(1) 食事形態状況

令和7年3月31日現在

経口摂取				経管栄養 (胃ろう)	【常食】 嚙む力、飲み込む力に 問題のない方への食事
主食		副食			
米飯	8名	常食	10名	1名	【やわらか食】 やわらかく煮込んだ食事 【嚙下食】 ムース状の食事
軟飯	2名	やわらか食	6名		
粥	7名	嚙下食	3名		
ミキサー粥	2名				
計	19名	計	19名		

(定員:20名)

(2) 対象者の状況

令和7年3月31日現在

給与栄養目標量 (kcal)	男性	女性
2,200 kcal 程度	0 名	0 名
2,000 kcal 程度	1 名	0 名
1,800 kcal 程度	3 名	0 名
1,600 kcal 程度	5 名	3 名
1,400 kcal 程度	4 名	4 名

※日本人の食事摂取基準2020の推定エネルギー必要量を参照

(3) 栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメントの実施状況

令和7年3月31日現在

栄養アセスメントの実施状況		栄養ケア・マネジメントの実施状況	
身長	(有・無)	栄養マネジメント加算	(実施している・実施していない)
体重	(年12回測定・無)	経口維持加算とその割合	(実施している・実施していない)
定期血圧検査	(有・無)		25%
有病状況の把握	(有・無)	療養食加算とその割合	(実施している・実施していない)
			5%

(4) 栄養ケア・マネジメントの過程

● 栄養ケア・マネジメント

栄養ケア・マネジメントとは、ご利用者の栄養状態を判定し、改善すべき栄養上の問題を解決するために、一人ひとりに最適な栄養ケアを行うシステムであり、ご利用者の栄養状態、健康状態を改善してQOL(Quality Of Life;生活の質, 人生の質)を向上させることをめざす。

栄養ケア・マネジメントは、健康の保持・増進のために最適な栄養ケアを提供することを目標として、スクリーニング(一定の基準によるリスクの判定・ふるい分け)を行い、栄養状態を的確に把握し、その評価・判定(栄養アセスメント)のもとに栄養ケア・栄養プログラムを計画する。その計画の実施による栄養状態の変化のモニタリングから、計画等の評価と再アセスメントを行い、その結果をフィードバックして、継続的にマネジメントする。

● 栄養スクリーニング

下記のチェック項目より、低栄養状態のリスクレベルを判定し、病気の症状が現れる前に栄養に関する問題を発見することができるよう、栄養スクリーニングを実施している。

〈栄養状態のリスクの判断〉

全ての項目が低リスクに該当する場合には、「低リスク」と判断する。高リスクにひとつでも該当する項目があれば「高リスク」と判断する。それ以外の場合は「中リスク」と判断する。

食事摂取量、栄養補給法については、その程度や個々人の状態等により、栄養状態のリスクは異なることが考えられるため、入所者個々の状態に応じて判断し、「高リスク」と判断される場合もある。

リスク分類	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	16.0～24.5未満	やせ:11.5～16.0未満 肥満:24.5～28.5未満	やせ:11.5未満 肥満:28.5以上
体重減少率	変化なし (減少3%未満)	意図しない体重減少 1か月に3～5%未満 3か月に3～7.5%未満 6か月に3～10%未満	意図しない体重減少 1か月に5%以上 3か月に7.5%以上 6か月に10%以上
血清アルブミン値	3.6g/dl以上	3.0～3.5g/dl	3.0g/dl未満
食事摂取量	76～100%	75%以下	50%以下
栄養補給法	経口摂取	経管栄養 静脈栄養法	
褥瘡	なし	なし	褥瘡あり

*BMIの計算式
体重(kg)÷身長(m)²

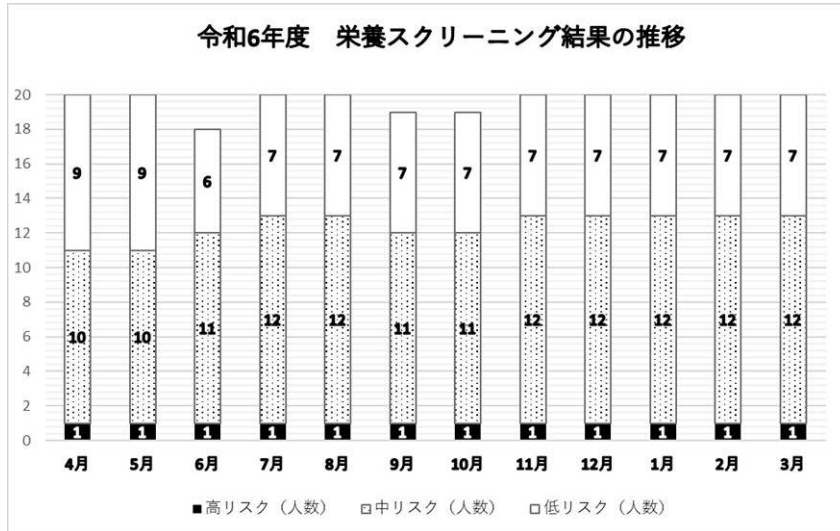
*体重変化率の計算式
(通常体重-現在の体重)÷
通常体重×100

*血清アルブミン値は、年2回
の健康診断の際に測定し、栄養
アセスメントに用いている。

(5) 栄養ケア・マネジメント

令和6年度の栄養スクリーニング結果の推移を図に示す。

定員:20名



(6) 経口維持支援の取り組み

ひびきでは、ご利用者の疾患の進行や加齢のほか、早食い・丸呑み、偏食、食べこぼし等、食行動の様々な課題が存在する。これらの課題を解決し、自分の口から食べる楽しみを得られるように、令和3年6月より、多職種が共同して、食事の観察(ミールラウンド)や会議を行う経口維持支援の取り組みを実施している。

算定要件・単位数

	経口維持加算 (I)	経口維持加算 (II)
対象者	指定障害者支援施設等において、現に経口により食事を摂取する者であって、摂食機能障害を有し、誤嚥が認められる入所者	
算定要件	医師又は歯科医師の指示に基づき、医師、歯科医師、管理栄養士、看護師その他の職種の者が共同して、入所者の栄養管理をするための食事の観察及び会議等を行い、入所者ごとに、経口による継続的な食事の摂取を進めるための経口維持計画を作成している場合であって、当該計画に従い、医師又は歯科医師の指示を受けた管理栄養士又は栄養士が、栄養管理を行った場合	協力歯科医療機関を定めている指定障害者支援施設等が、経口維持加算(I)を算定している場合であって、入所者の経口による継続的な食事の摂取を支援するための食事の観察及び会議等に、医師、歯科医師、歯科衛生士又は言語聴覚士が加わった場合
単位数	1人当たり 400単位/月	1人当たり 100単位/月

1人当たり計500単位/月算定

対象者

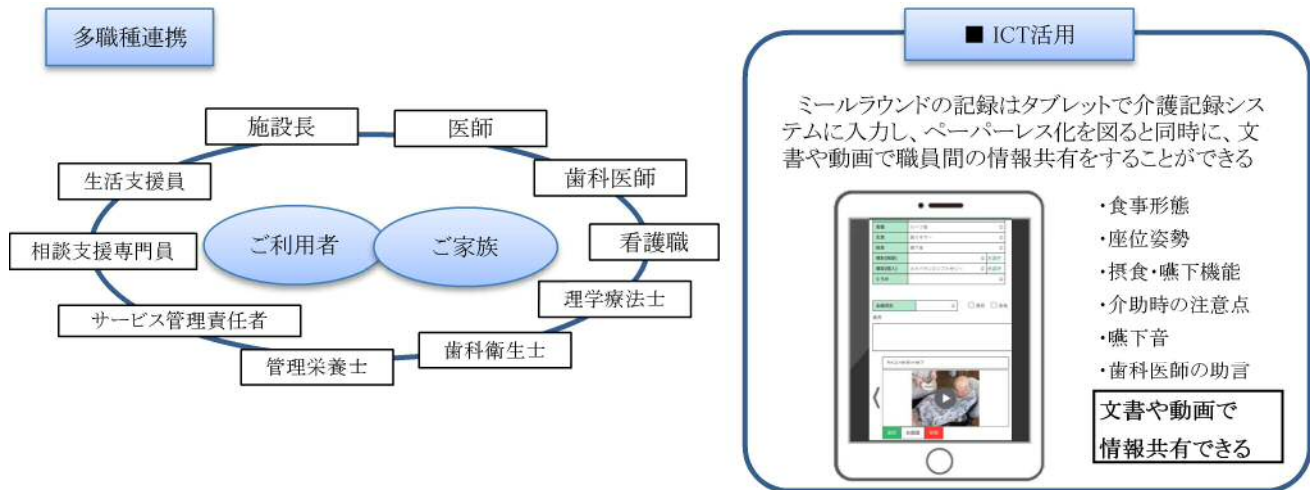
対象者の条件

- ① 現に経口により食事を摂取している
- ② 摂食機能障害がある
- ③ 誤嚥がある
- ④ 特別な管理が必要である



ひびきでは・・・

左記の条件に該当するご利用者の中でも、**誤嚥のリスクが高いご利用者**から順に、医師の診察・指示のもと、経口維持支援を実施している



●経口維持加算算定人数・加算収入(経口維持加算(Ⅰ)・(Ⅱ)を算定)

年度	算定人数(名)/月	延べ加算算定人数(名)	加算収入(円)
令和3年度	6.9	55	275,000
令和4年度	6.9	83	415,000
令和5年度	4.9	59	295,000
令和6年度	4.0	48	240,000

※R3年度は6月～3月

R7.3.31現在 加算対象:5名

※算定人数が減少した理由

- ・感染症対応中のため、経口維持ミールラウンドを実施することができなかった。(12月、3月)
- ・摂食嚥下機能が低下し、入院もしくは退所となり算定を終了した。

●経口維持支援の取り組みを行った成果

- ・歯科医療との連携が図られ、歯の治療や義歯調整など、必要時に適切な歯科医療につなぐことができた
- ・歯科医師等の助言を得ることで、職員の知識が深まり、日頃のケアの改善に活かすことができた
- ・多職種協働で食支援を行うことで、各専門職の視点からの意見や提案を生活支援員に伝えることができた
- ・経口維持の支援の目的や課題を共有し、解決に向けて意見交換をすることができた
- ・各職種がミールラウンドを通して意見交換を行うようになり、ミールラウンド時以外でも、その都度食事形態や食事介助方法、食事姿勢の相談をしやすくなった

(7)まとめ

栄養ケア・マネジメントや経口維持支援の取り組みを通して、多職種で連携し、咀嚼能力等の口腔機能や嚥下機能、食事姿勢等を評価することで、一人ひとりのご利用者の課題に対して多角的な視点から向き合うことができた。

嚥下機能が低下しても自分の口から食べたいという意欲を強く持たれているご利用者が多くいらっしゃるため今後も多職種での連携を図り、ご利用者の状態にあった食事を提供し、誤嚥性肺炎の予防と経口維持支援に努めていきたい。

ぶどうの森

1 職員配置

令和7年3月31日現在

区分	管理者(兼:サービス管理責任者)	生活支援員	職業指導員	運転手	医師	看護職	計(名)
正職員	1	3	1	-	-	0.2	5.2
準職員	-	-	1.2	-	0.1	-	1.3
(計)	1	3	2.2	0	0.1	0.2	6.5

【協力病院】 みのう医科歯科クリニック

2 障害福祉サービス費等収入

【定員 20名】 就労継続支援B型14名 生活介護事業6名 (単位;円)

年度	延べ利用者数(名)	介護給付		合計
		国保連合会	利用者	
4	4,443	33,752,960	368,830	34,121,790
5	4,704	37,517,186	177,734	37,694,920
6	4,977	47,782,200	0	47,782,200

3 就労支援事業

(単位;円)

年度	年間就業時間(時間)	受託業務	生産活動	合計
4	11,240	1,138,571	10,236,162	11,374,733
5	13,790	2,258,262	11,267,056	13,525,318
6	14,107	1,198,460	16,498,927	17,697,387

(単位;円)

延利用者数	開所日数	工賃支払総額	※工賃平均月額
3,587	252	2,736,353	16,020
3,889	256	3,684,656	20,212
3,956	254	4,011,328	21,463

※令和6年新算出計算式より

4 利用者の状況

(1) 利用者の年齢構成等 令和7年3月31日現在

性別	年齢							(計)
	20歳未満	20歳 29歳	30歳 39歳	40歳 49歳	50歳 59歳	60歳以上		
男性(名)	3	10	1	3	2	1	20	
女性(名)	0	1	0	2	0	1	4	
就労B	3	11	1	5	2	2	24	
男性(名)	1	5	3	0	0	0	9	
女性(名)	0	0	0	0	0	0	0	
生活介護	1	5	3	0	0	0	9	
計(名)	4	16	4	5	2	2	33	

(2) 利用者の障害種類 令和7年3月31日現在

障害種類	(計)
身体障害	2名
知的障害	24名
精神障害	9名
(計)	35名

(3) 手帳所持者の人数 令和7年3月31日現在

1)療育手帳	22名
2)精神保健福祉手帳	9名
(計)	21名

5 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職名 総合施設長	職名 サービス管理責任者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

6 災害事故防止対策

(1) 消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出	令和6年11月11日	防火管理者	藤山 洋樹
------------	------------	-------	-------

(2) 各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R6.11.5 消火・通報・避難活動、初動動作の確認	無	無	有
R6.9.2 シェイクアウト訓練、初動動作と現場確認	無	無	有

グループホーム花みずき弐番館

1 事業体制等

令和7年3月31日現在

区分	世話人	事務職	計(名)
正職員	兼2	兼1	兼3
準職員	兼2	-	兼2
(計)	兼4	兼1	兼5

【業務委託】 給食 スタミナフード株式会社

【協力病院】 里村クリニック

【家賃等】 (単位:円)

内訳	個室
家賃	30,000
光熱水費	10,000
(計)	40,000

【食費】 (単位:円)

朝食	309
昼食	432
夕食	432
昼おにぎり	110

【居室数】

個室	2人部屋
4室	-

2 障害福祉サービス費等収入

(単位:円)

年度	延べ入所者数 (名)	訓練等給付		特定障害者 特別給付	家賃・食費等	合計
		国保連合会	利用者負担金			
4	1,460	3,645,824	405,060	360,000	2,973,760	7,384,644
5	1,464	3,698,608	410,920	360,000	2,681,578	7,151,106
6	1,116	2,358,071	261,992	260,000	1,987,339	4,867,402

3 入所者の状況

(1) 入所者の年齢構成等

令和7年3月31日現在

性別	年齢	20歳 未満	20歳 ~29歳	30歳 ~39歳	40歳 ~49歳	50歳 ~59歳	60歳 ~69歳	70歳 以上	計 (名)	年齢(歳)		
		最高	最低	平均								
男性(名)		0	0	1	0	0	1	0	2	60	33	46.5
女性(名)		0	0	0	0	0	0	1	1	81	81	81
計(名)		0	0	1	0	0	1	1	3	63.75		

(2) 日常生活の状況

(ア) 障害程度区分

令和7年3月31日現在

区分	非該当	1	2	3	4	5	6	(計)
男性(名)	1	0	1	0	0	0	0	2
女性(名)	1	0	0	0	0	0	0	1
計(名)	2	0	1	0	0	0	0	3

(イ) 手帳所持者の人数 令和7年3月31日現在

療育手帳	3名
身体障害者手帳	0名

(ウ) 重複障害の状況

令和7年3月31日現在

知的障害と身体障害の重複	0名
知的障害	3名

4 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員 への報告
職名 総合施設長	職名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

ケアメントハウスあんどの里ありそ館

1 事業体制等

令和7年3月31日現在

区分	統括管理者	管理者	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼5	兼1	兼8
準職員	-	-	兼2	-	兼2
(計)	兼1	兼1	兼7	兼1	兼10

【業務委託】 宿直 公益社団法人 魚津市シルバー人材センター 【協力病院】 みのう医科歯科クリニック
給食 日清医療食品株式会社

【併設事業所】 ヘルパーステーションあんどの里ありそ館

【家賃等料金】 (単位:円)

内 訳	個 室	2人部屋
家 賃	45,000	45,000
共益費	23,000	28,000
管理費(税抜)	26,300	42,600
食 費(税抜)	1,620(日額)	

【居室数】

個 室	2人部屋
17室	2室

2 高齢者住宅事業収入

(単位:円)

年度	家賃等収益	食費	その他	合計
4	22,905,637	11,172,800	28,635	34,107,072
5	22,685,703	11,195,200	35,145	33,916,048
6	21,980,180	11,987,500	84,785	34,052,465

3 入居者の状況

(1)入居者の年齢構成

令和7年3月31日現在

年齢	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	(計)	年 齢 (歳)			
	最高	最低	平均											
性別														
男性(名)	0	0	0	2	0	3	1	1	0	7	95	75	85.9	
女性(名)	0	0	0	0	2	3	7	1	0	13	97	80	89.6	
計(名)	0	0	0	2	2	6	8	2	0	20			88.3	

(2)避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	消防署立会
R6.10.17	4名	無
R7.2.12	5名	無

4 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

ケアメントハウス花みずき

1 事業体制等

令和7年3月31日現在

区分	統括管理者	管理者	介護職	その他	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼5	-	兼1	兼8
準職員	-	-	兼6	1	-	1+兼6
(計)	兼1	兼1	兼11	1	兼1	1+兼14

【業務委託】 宿直 公益社団法人 富山市シルバー人材センター 【協力病院】 里村クリニック
給食 スタミナフード株式会社

【併設事業所】 デイサービス花みずき、ヘルパーステーション花みずき

【家賃等料金】 (単位:円)

内 訳	個室(1)	個室(2)	2人部屋
家 賃	35,000	30,000	35,000
共益費	23,000	23,000	28,000
管理費(税抜)	36,300	36,300	52,600
食 費(税抜)	2,180(日額)		

【居室数】

個室(1)	個室(2)	2人部屋
16室	3室	2室

*個室(1)(2)は、面積が異なります。

2 高齢者住宅事業収入

(単位:円)

年度	家賃等収益	食費	その他	合計
4	24,741,826	13,115,760	28,743	37,886,329
5	23,748,638	14,155,020	36,411	37,940,069
6	24,097,730	16,583,260	35,297	40,716,287

3 入居者の状況

(1)入居者の年齢構成

令和7年3月31日現在

年齢	65歳未満	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~94歳	95歳~99歳	100歳以上	(計)	年 齢 (歳)			
	最高	最低	平均											
性別														
男性(名)	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	92	86	88	
女性(名)	0	0	0	1	3	7	5	3	0	19	98	76	89	
計(名)	0	0	0	1	3	9	6	3	0	22			89	

(2)避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	消防署立会
R6.12.31	19名	無
R7.3.30	21名	無

4 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

ケアメントハウス花みずき弐番館

1 事業体制等

令和7年3月31日現在

区分	統括管理者	管理者	事務職	清掃	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼1	-	兼3
準職員	-	-	-	1	1
(計)	兼1	兼1	兼1	1	1+兼3

【業務委託】 給食; スタミナフード株式会社

【協力病院】 里村クリニック

【併設事業所】 デイサービス花みずき弐番館、ヘルパーステーション花みずき弐番館、グループホーム花みずき弐番館

【家賃等料金】 (単位;円)

内 訳	個 室	2人部屋
家 賃	35,000	35,000
共益費	23,000	28,000
管理費(税抜)	36,300	52,600
食 費(税抜)	2,180(日額)	

【居室数】

個室	2人部屋
18室	2室

2 高齢者住宅事業収入

(単位;円)

年度	家賃等収益	食費	その他	合計
4	23,961,418	11,864,160	40,931	35,866,509
5	22,884,789	14,632,200	35,608	37,552,597
6	23,283,164	16,365,260	22,271	39,670,695

3 入居者の状況

(1) 入居者の年齢構成

令和7年3月31日現在

年齢 性別	65歳 未満	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 ~ 94歳	95歳 ~ 99歳	100歳 以上	(計)	年 齢 (歳)		
											最高	最低	平均
男性(名)	0	0	0	0	1	2	3	0	0	6	93	85	88.8
女性(名)	0	0	0	1	1	6	6	1	0	15	95	78	90.9
計(名)	0	0	0	1	2	8	9	1	0	21			89.9

(2) 避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	消防署立会
R6.11.18	22名	無
R7.3.24	23名	無

4 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員 への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

ケアメントハウス花みずき参番館

1 事業体制等

令和7年3月31日現在

区分	統括管理者	管理者	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼1	兼3
準職員	0	0	0	0
(計)	兼1	兼1	兼1	兼3

【業務委託】 宿直 公益社団法人 富山市シルバー人材センター
給食 スタミナフード株式会社

【協力病院】 里村クリニック

【併設事業所】 小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館

【家賃等料金】 (単位;円)

内 訳	個 室	個室に2名入居の場合
家賃	35,000	—
共益費	23,000	—
管理費(税抜)	39,930	—
食 費(税抜)	2,180(日額)	

【居室数】

個室	2人部屋
21室	—

2 高齢者住宅事業収入

(単位;円)

年 度	家賃等収益	食費	その他	合計
4	24,325,792	12,237,120	19,195	36,582,107
5	23,333,448	13,824,360	19,305	37,177,113
6	23,741,483	15,419,140	19,360	39,179,983

3 入居者の状況

(1)入居者の年齢構成

令和7年3月31日現在

年 性別	65歳 未満	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 ~ 94歳	95歳 ~ 99歳	100歳 以上	(計)	年 齢 (歳)		
											最高	最低	平均
男性(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性(名)	0	0	0	0	0	5	6	9	0	20	98	85	92.7
計(名)	0	0	0	0	0	5	6	9	0	20			92.7

(2)避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	消防署立会い
R6.10.23	23名	無
R7.2.25	24名	無

4 苦情解決の状況

苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	第三者委員の 名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員 への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 殿村 伸二	0件	0件	0件	無

社 会 福 祉 法 人
海 望 福 祉 会